がわかる五〇〇のQ&Aと
二〇〇人の体験資料

最新 尿療法入門

中尾内科医院院長
MCL研究所会長
中尾良一 著

マキノ出版

すべてがわかる五〇のQ&Aと二〇〇人の体験資料

最新 尿療法入門

中尾内科医院院長
MCL研究所会長
中尾良一 著

マキノ出版

■最新尿療法入門／目次

第1章 尿療法のすべてがわかるQ&A

事実を知れば勇気が湧いてくる——6

1 誰もが抱く素朴な疑問に答える——7

・問1 そもそも尿療法とはいったいなんですか——7
・問2 尿を飲むとなぜ病気が治るのですか——8
・問3 尿療法はいつごろから行われていたのですか——10
・問4 どうしても尿を飲む勇気が出ませんが——11
・問5 尿のにおいが気になりますが、においを消す方法はありますか——12
・問6 尿は汚くないのですか——13
・問7 尿は飲んでもほんとうに無害ですか——14
・問8 尿は大便と違い単なる排泄物ではないと聞いたがほんとう？——15
・問9 尿は血液から作られるそうですが、血液とどう違うのですか——16
・問10 尿にはどのような成分が含まれているのですか——18

2 こうすればいっそう効果があがる——20

・問11 尿療法はどんな病気に効くのですか——20
・問12 尿療法の有効例のデータを教えてください——21
・問13 尿療法の効きやすい人、効きにくい人はありますか——22
・問14 尿療法のまったく効かない人もいますか——23
・問15 尿は自然治癒力を高めるとのことですがなぜ？——24

・問16　尿はいつどんなふうに飲めばいいのですか――25
・問17　毎日の飲尿量はどれくらいがよくどれくらいだと効果があるのですか――26
・問18　尿は朝一番のものがよいといわれるのはなぜですか――27
・問19　尿から作られる薬は多いと聞きましたが…――28
・問20　尿にはインターフェロンも含まれていると聞いたがほんとう？――28
・問21　プロポリスと併用すると効果が高まると聞いたがプロポリスとは何？――30
・問22　プロポリスと併用するとどのような効果が高まるのですか――31
・問23　尿は粘膜や肌からも吸収されるというのはほんとう？――32
・問24　口の中に含むようにすると効果が高まると聞いたがなぜ？――33
・問25　尿は腸の働きを整える作用があると聞いたがほんとう？――34
・問26　飲む尿は他人のものでも効果がありますか――35

3　「好転反応」への理解が成功の鍵――36

・問27　尿療法を実行するとどれくらいで効果が現れることが多いのですか――36
・問28　尿療法が効いてくると体にどんな変化が起こってきますか――37
・問29　尿療法には「好転反応」という関門があると聞きましたが…――38
・問30　「好転反応」はすべての人に現れるのですか――39
・問31　「好転反応」はいつごろ現れるのですか――40
・問32　「好転反応」はどれくらいのあいだ続くのですか――41
・問33　尿療法の「好転反応」ではどのような症状が多いのですか――42
・問34　「好転反応」の上手な乗り切り方を教えてください――43

4　『尿療法』こんな心配はナンセンス――44

・問35　尿療法を実行されている人はどんな人が多いのですか――44
・問36　腎臓病、生理中などの場合も尿療法を行ってよいですか――44
・問37　尿がとても塩からいのですが、飲み続けてもかまいませんか――45
・問38　尿療法は子供が行っても害はありませんか――46
・問39　尿中の有効成分は腸から吸収されても有効性を失わないのですか――47

5　『尿療法』の意外な活用法――48

・問40　尿をうがい、点眼などに用いる方法があると聞いたが――48
・問41　尿のマッサージ、足湯、湿布も効果があると聞いたがどうするのですか――49
・問42　尿療法は美容にも効果があると聞いたのですが……――50
・問43　老化防止のために尿療法を行いたいのですが……――51
・問44　尿療法は精力増強にも効果がありますか――52
・問45　尿療法は病気の予防にも効果がありますか――52

6　世界も尿療法に注目しはじめた――54

・問46　尿療法の効果やしくみは科学的に解明されているのですか――54
・問47　尿療法はなぜ現代医療に取り入れられていないのですか――55
・問48　ネズミを使った尿療法の実験が行われているそうですが……――56
・問49　「尿療法などやるべきでない」という医師もいますが……――57
・問50　世界では尿療法はどのように普及しているのですか――58

第2章 尿療法はこんな病気に特に効く
ガン、成人病、内臓の病気に
すばらしい効果——60
＊ガンに効果があった——60
＊糖尿病や心臓病が治った——62
＊胃潰瘍、ポリープが消えた——63
アレルギーやアトピーが治った——64
＊ぜんそくや鼻炎にすごい効果——64
＊蓄膿症や花粉症もみごと撃退——65
＊白内障、耳鳴り、うつ病にも有効——66
シミ、白髪が消え美肌効果も抜群——68
＊強精効果も高くご夫婦にお勧め——68
第3章 病気別二〇〇例の実践データ
データからわかる尿療法の効果と真実——70
＊尿療法は同時に複数の病気に効く——70
＊実践者二〇〇人の症状別一覧表——72〜91
＊劇的効果と安全性が確認された——92
第4章 尿療法の仕組みが科学的に解明されつつある
尿療法には確実で明白な効果があることが動物実験であきらかになってきた——94
林原生物化学研究所藤崎研究所所長 栗本(くりもと)雅司(まさし)

◉第1章

尿療法のすべてがわかるQ&A

＊事実を知れば勇気が湧いてくる

一九八八年四月号の、健康誌『壮快』誌上で、私が初めて「尿療法」を紹介し、大きな反響を呼んだことは、まだ記憶に新しいことです。その後、『壮快』では毎月のように「尿療法」の特集を取り上げてきましたが、そのたびに「劇的な効果があった」、「生きる希望がわいてきた」という読者からの手紙や電話が寄せられました。

また、「尿療法」を提唱した私のもとにも、多くの感謝の言葉や問い合わせが殺到しています。

「尿療法」が、健康を願う人や病気の回復が思わしくない人たちのあいだに支持され、広く浸透しつつあることは、間違いない事実です。

この事実を踏まえて、「尿療法」がなぜ効くのか、科学的な仕組みを解明しようと、研究を始めた研究機関も出てきました。現在、「尿療法」がどのような病気に効くのか、尿中のどのような成分が効果を現すのか、ネズミを使った動物実験などで研究されている最中です。

また、「尿療法」の効果をさらに高めるにはどうしたらよいのか、その具体的な効果増強法についても、徐々に明らかになりつつあります。

これら最新の科学情報をもとに、「これから尿療法を始めよう」「尿療法をもう一度基本から見直してみたい」という人はもちろん、「尿療法をやってみたいのだが、どうも迷いや不安があって踏み切れない」という人のために、「尿療法」が初歩からわかり、迷いや不安を一掃するQ&Aを厳選してみました。

これを読めば、「尿療法」を実行する勇気がわいてくることでしょう。そして、健康な明日が約束されることでしょう。

①誰もが抱く素朴な疑問に答える

問1　そもそも尿療法とはいったいなんですか

答1

尿療法とは、「病気の人が、どうしても治らない病気を自分の尿を飲んで治すこと」といえます。ただし、健康な人が、ふだんから自分の尿を飲むことによってガン、狭心症（心臓の血管が狭くなって起こる病気）、脳卒中などの予防に役立てることも尿療法に含まれています。

尿療法を行ううえで、大切なポイントは二つあります。

一つは、飲むのは自分の尿だということです。尿療法には、本人がなんらかの理由

（例えば、脳卒中で意識がないとか、毒ヘビに噛まれて動けないなど）で自分の尿を飲めない場合、他人の尿を飲ませるという方法もありますが、基本は自分の尿を飲むことにあります。二つ目は、一度酸素に触れた尿を飲むことです。膀胱は尿がたまる袋ですから絶えず尿と接触しています。しかし、膀胱内にガンができることがあるように、酸素に触れていない尿にはガン防止の力はなく、尿は、酸素に触れることで活性化されると考えられるのです。

問2　尿を飲むとなぜ病気が治るのですか

答 2

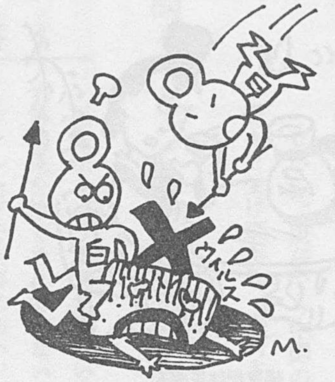
尿が病気を治す仕組みは、まだよくわかっていません。尿を飲むと病気が治るという事実があるだけです。そこで、以下に私の推論を述べてみます。

第一点は、尿の中にあるさまざまな物質が、その人の病気の患部に直接作用して効果を発揮するというものです。

例えば、ウイルス性肝炎などの細菌性の病気については、尿中の抗体（ウイルスに抵抗する物質）やホルモンなどの働きで、病気が改善するという考え方です。

第二点は、尿が体外に排出されて外気に触れたあと、それを飲んで再び体内に戻され消化管を通じて吸収されると、その人の体内である種の物質（例えばインターフェロン）が微量に産出され、その刺激によって白血球（血液の細胞成分の一つ）やリンパ球（白血球の一種）などの増殖が行われ、その病気に特有の自然治癒力（人間が本来持っている病気を治そうとする力）を高める働きがあるという考え方です。

しかし、これらはあくまで推論であって、結果として尿がさまざまな病気に効くから、このような考え方も生まれるのです。



白血球の増殖が自然治癒力を高める

問3　尿療法はいつごろから行われていたのですか

答3

尿療法の歴史は古く、インドでは紀元前二〇〇〇年、つまりいまから四〇〇〇年も前から始まったという記録も残っています。その後、ヒンズー教徒やヨガの行者の間で、尿療法は神聖で有効な治療法であるばかりでなく、お金のかからない健康維持法としても広がりを見せました。ところが、時代とともにこれを秘めごととする動きが強まり、やがて衰退するようになりました。

楊貴妃は尿美人

中国では、尿療法は一五〇〇年前から始まりました。しかし、中国における尿療法は、病気の治療法としての意味合いとは少し異なるもので、いわゆる童尿の飲用でした。

これは、七歳以下の子供の尿を若返りの妙薬として飲むものです。有名な楊貴妃（中国の唐の時代の玄宗皇帝の妃）も、童尿を飲んだり顔につけたりして、美しさを保っていたのです。

日本では、七五〇年前の鎌倉時代に、すでに「時宗」の開祖一遍上人によって別府の温泉療法とともに尿療法が行われていました。ところが、その後、蘭学や漢方医学の普及によって、尿療法はしだいに忘れられてきました。

しかし、現在でも中国の四川省、インド、カナダ・インディアンの居留地などで脈々と受け継がれ、実行されています。

問4　どうしても尿を飲む勇気が出ませんが……

答4

尿療法を行う勇気が出ないという人は、病気で悩んでいないか、まだ尿に対する偏見を捨てきれていないからではないでしょうか。

ホテルなどで火事にあい、窓から飛び下りなければ焼け死ぬという場合に、飛び下りれば死ぬか大けがをするとわかっていても、多くの人は飛び下ります。

このような状況に比べれば、命を救ってくれる尿を飲むことなど、大した問題ではないのです。

尿療法は、難病に追い詰められ「万事休す」の一歩手前になってはじめて決心する人が、実に多いのです。

しかし、飲もうか飲むまいかと悩み続け、いざ実行するときにはすでに手遅れという例もあることを、心に刻んでおいてください。

「足元の明るいうちに」という言葉がありますが、尿療法は、症状の軽い段階で始めた人ほど、好結果を得る確率が高いといえるでしょう。日ごろからの心がけが、あなたの健康を守るのです。

問5　尿のにおいが気になりますが、においを消す方法はありますか

答5

ライムやハーブの甘い香りのついた水溶性のプロポリス（問22に詳述）のほかに、ウロメイトCという尿療法用の清涼飲料が市販されています。これは、ビタミンCで作られているので、そのさわやかな酸味が尿のにおいを消し、ビタミンC自体の効果も期待できます。

においの気になる人は、この方法のほかにも、いろいろご自分で工夫して飲んでみ

てください。必ず体のためになるでしょう。

問6　尿は汚くないのですか

答6

尿は、体内を循環してきた血液が腎臓で濾過されたあと、膀胱に貯蔵され、それが排出されたものですから、汚いことはまったくありません。よく「尿中にはたくさんの細菌や微生物がいる」といわれることがありますが、これも事実に反します。

しかし、例外もあることはあります。細菌によって腎臓に炎症が起こる腎盂炎や、尿の通り道である輸尿管の感染症、膀胱炎などの場合は、尿中に細菌が含まれることがあります。

ただ、そのような場合でも、細菌の量はごくわずかなものですから、尿を飲んでも胃酸の働きで殺されてしまいます。

たとえ生き延びるものがあったとしても、腸の中で病気を引き起こすような性質の菌ではありませんから、心配はいりません。

問7　尿は飲んでもほんとうに無害ですか

答7

自分の尿は、自分の血液が腎臓で濾過されて作られたものですから、害があることは考えられません。実際、全国の患者さんたちからいただくたくさんの電話や手紙も、有害であったという例は一つもないのです。

私自身、すでに一〇年以上尿を飲み続けています。毎月一回、血液検査を行っていますが、体になんの異常もないばかりか、すこぶる健康です。

海外でも、インドのデサイ元首相が三〇年間尿療法を続けていて、九十五歳になる現在もご健在です。

参考までに、尿の主な成分を紹介しておくと、尿素、尿酸、クレアチニン、アミノ酸、ナトリウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム、塩化物、水素イオンなどです。そのほかにも、ごく微量に含まれる物質を加えれば、二〇〇種類以上になります。

なお、それらの成分と量は、人それぞれの体質、そのときの食べ物、体調などによって異なることはいうまでもありません。

問8　尿は大便と違い単なる排泄物ではないと聞いたがほんとう？

答8

わかりやすくたとえるなら、尿が上水道を通ってくるのに対し、大便は下水道を通ってくる、ということがいえるでしょう。

口から入った飲食物は、胃、小腸、大腸といった一本の消化管を通るあいだに消化され、各種の栄養物が吸収された残りカスや、腸内細菌やその死骸が、糞便つまり大便となって排泄されます。

これに対して、尿のほうは、血液が糸球体という、いわばろ紙を通過して作られたものですから、まったくの無菌状態です。

このように、尿は、大腸菌など無数の細菌を含む大便とは、作られる過程が根本的に異なっていることが、おわかりいただけるはずです。

「この水、飲めます」

問9 尿は血液から作られるそうですが、血液とどう違うのですか

答9

全身にくまなく張り巡らされた動脈は、腎臓の中で、しだいに小さな枝に分かれていって、毛細血管となります。その先端は丸まっており、まるで糸が集まったような状態になっています。

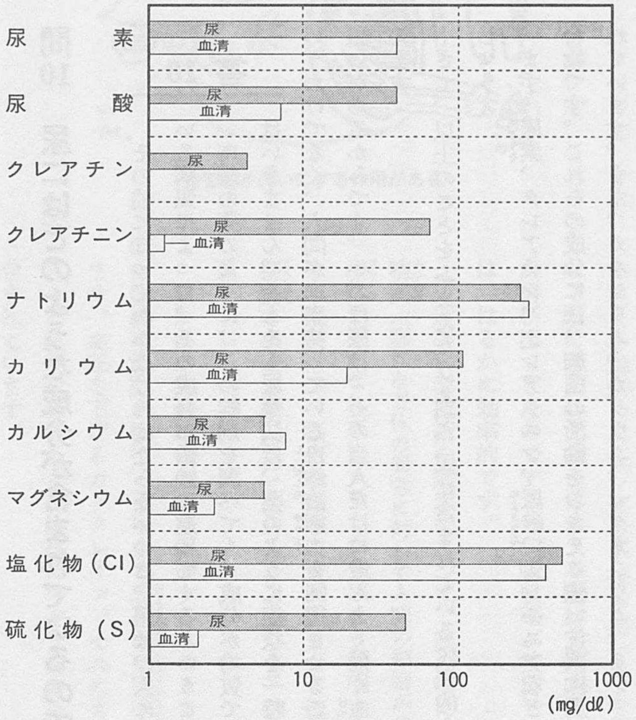
これを糸球体といいます。

動脈を流れてきた血液は、その過剰分が糸球体に入ったところでろ過され、ごく一部が尿となって体外に排出されます。ですから、尿は文字どおり、血液からの産物といって差し支えないのです。

ただし、腎臓でろ過されて尿細管を通って、膀胱へ行くあいだに、さまざまな栄養物質が吸収されて、血液の中に戻るため、最終的に排出される尿は、血液の成分とは若干の違いがあります。血液の上ずみ液である血清が、弱いアルカリ性であるのに対し、尿が弱い酸性を示すのは、そうしたためなのです。

次ページの「尿と血清の成分比較」を参照してください。

図　尿と血清の成分比較



（資料提供＝MCL研究所）

問10　尿にはどのような成分が含まれているのですか

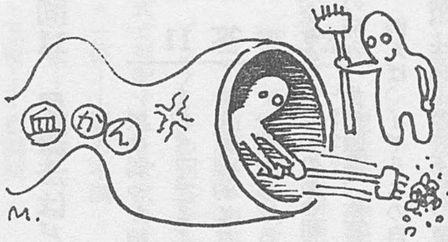
その前に知っておかなければならないのは、尿は、人によって、かかっている病気によって、その成分が微妙に違ってくるということです。

市販の薬のように、どの錠剤を調べても、成分が均質であるというわけにはいきません。そもそも尿療法は、薬のように症状を一時的におさえ込むというわけでなく、人間が本来持っている自然治癒力を回復させることに、その大きな狙いがあるからです。いわば尿は、その当人だけに最もよく効く血清ワクチンだといえます。

答10

さて、以上のことをふまえたうえで、尿に含まれている代表的な成分を紹介しましょう。

まず、尿素、クレアチン、クレアチニン、尿酸、アンモニアなどの窒素分を含む化合物です。これらの成分には、細菌の活動をおさえる強い抗菌作用のあることが知られています。また、カルシウム、カリウム、マグネシウム、リン、ナトリウムなどの



血管をきれいにする作用がある

ミネラル類が、バランスよく含まれていることも見逃せません。尿に含まれているミネラル類は、体内で一度吸収された物が再び出てきたのですから、吸収率が抜群で食品からとるよりは、はるかに効率的です。

最近の科学技術の進歩によって、尿の中には微量の生理活性物質（病気など体の異常に対して人間の細胞がつくり出す有益な分泌物）が含まれていることが、次々と解明されつつあります。

その代表格が、脳や心臓の血管が詰まって起こる脳血栓や心筋梗塞の薬にも使われているウロキナーゼ（血液の塊を溶かす物質）でしょう。

ほかに、赤血球の生成を促進するエリスロポエチン、傷ついた組織や細胞を修復・再生する表皮増殖因子、末梢血管を拡張させ、血圧を下げるカリクレイン、それにさまざまなガンをおさえる抗ガン物質など、枚挙にいとまがないほどの有効物質が含まれています。

②こうすればいっそう効果があがる

問11　尿療法はどんな病気に効くのですか

答11

尿は弱った細胞を活性化させ、生体の自然治癒力（人間が本来持っている病気を治そうとする力）を高める働きがあるので、骨の欠損などのような障害以外なら原理的にはあらゆる病気に効果が期待できるといえます。

一例をあげると、リウマチ、痛風、ガン、高血圧、肝臓病、糖尿病、膠原病（全身の関節などの結合組織に炎症を起こす原因不明の症状）、ヘルペス（帯状疱疹）、肩や腰の痛み、歯槽膿漏、座骨神経痛、便秘、精力増強、疲労回復、白髪などです。

例えば、イギリスの自然療法論者のアームストロング氏は、肝臓病、胆のう炎、皮膚病、生理不順、不妊、原因不明の発熱、ふるえ、けいれん、マヒ、脳卒中、リウマチ、てんかん、貧血、頭痛、うつ病、ヒステリー、更年期障害、神経痛、関節炎、跛行症（片側の足を引きずる歩行障害）、子宮内膜炎などによるこしけ（女性性器から出るおりも

の）、インポテンス、栄養失調など、まさに万病といわれる有効例を報告しています。

問12　尿療法の有効例のデータを教えてください

答12

『壮快』編集部が行った尿療法実行者へのアンケート（一九九一年三月実施、二〇八人が回答）の結果を見ると、まさに尿療法は万病に効くということが改めて確認されます。また、尿療法が複数の病気にほぼ同時に効いているという事例が多いのが、もう一つの大きな特徴だといえるでしょう。

アンケートの回答をもとに、尿療法が効いた病気を、多いものから順にベストテン形式で列記すると、次のような結果になります。

- 一位——腸の不調
- 二位——高血圧
- 三位——心臓病
- 四位——胃の不調
- 五位——目の病気
- 六位——肌の症状
- 七位——ひざの病気
- 八位——足の病気
- 九位——疲れ
- 一〇位——肩こり

問13　尿療法の効きやすい人、効きにくい人はありますか

答13

病気の状態には個人差がありますから、たとえ同じ病気でもおのずと違いが生じます。

例えば、難病といわれるリウマチの場合、いままで三日で効果が現れたという人もいれば、三ヵ月から一年以上かかったという人もいます。

一般に、若い人や、病気の進行が早期の段階の人には、効果は早く現れるようです。

しかし、高齢者や末期的な症状の人の場合は、効果が現れるのに時間がかかるという傾向があります。

また、脳の働きも大切な要素の一つです。

医師仲間ではよく、「ガンに対して恐怖心がある人はガンで倒れる場合が多く、食中毒に対して必要以上の警戒心を持つ人は食中毒になりやすい」などといいますが、それは恐怖心や警戒心によって、制ガン物質の産出がおさえられたり、胃液の分泌が止められて、殺菌作用が減退したりするからです。

尿療法の場合も同様です。これを飲めば治ると思って飲む人には、病気に効く免疫物質（病気に対する抵抗力を発揮する物質）も生産されますが、こんな汚いもので治るかと思って飲む人には、免疫物質を作る働きが抑制されてしまうのです。

問14　尿療法のまったく効かない人もいますか

答14

尿療法を行っている人の中には、いままでいろいろな現代医学の治療を試みてもどうしても効果がなかったから、尿療法を始めてみたという人が数多くいます。

このような人々は、化学薬品の使い過ぎで健全な細胞までが損傷を受けていることが多く、病気に対する体の抵抗力も弱いことから、尿療法の効果が見られないことも少なくありません。

また、症状が末期的な状態に陥って、もやは寿命が尽きかけてから尿療法を始めても、思うような効果が得られないことは当然です。

「尿療法が効かない人がいるか」と問われれば、「いる」といわざるをえないのが正

直なところですが、尿療法をもっと早めに根気よく続けてさえいれば、骨の欠損などのような障害以外なら、一〇〇％の人がなんらかの効果を期待できます。

問15　尿は自然治癒力を高めるとのことですがなぜ？

答15

人間の体には本来、船のスタビライザーのような精巧な復元装置がついており、どちらかに傾きだすと、健康体であるならば、たちまち元のバランスのよい状態に立て直すように働きます。

私の考えでは、それは自律神経（意志とは無関係に内臓などの働きを調整する神経）、ホルモン、免疫（病気に対する抵抗力）の三つの柱から成り立っているはずです。

病気とは、これらの自然治癒力がなんらかの形で仕事を怠けてしまっている状態といえるでしょう。

尿療法とは、怠けてしまっている自然治癒力のネジを巻き、ちゃんと仕事をさせるきっかけをつくることだと考えています。

では、なぜ尿が自然治癒力を高めるのでしょうか。現在、動物実験などで科学的に解

明している最中なので、いずれその全貌がわかると思います（九四ﾍﾟ、「第4章」参照）。

問16　尿はいつどんなふうに飲めばいいのですか

答16

尿療法は、自分の尿を飲むわけですから、方法はとても簡単です。

いちばんよいのは、朝一番（二七ﾍﾟ、問18参照）の中間尿を飲むことです。

中間尿とは、出始めと出終わりを除いた尿のことで、排尿時に最初の少量は捨てて（排尿口、つまり尿の出口付近の不純物を流すため）、その後に出る尿をコップに八分目ほど（一五〇～二〇〇ﾐﾘﾘｯﾄﾙ）採り、そのまま飲むのです。

ただ、尿療法を行おうとしても、どうしてもにおいが気になるという相談が私のところにもたくさん来ています。

その場合は、水で薄めたり、氷を入れて冷やしたりして飲むとよいでしょう。

また、尿を飲むときは、鼻で呼吸せずに、口で息をしながら尿を徐々に流し込むようにしましょう。

ただ、慣れてしまえば、水を飲むのとさほど変わりはありません。

問17 毎日の飲尿量はどれくらいがよく どれくらいだと効果があるのですか

答17

アンケートの中で最も多かった飲尿量は、一日に二〇〇ミリリットルで全体の四八％です。次いで一八〇ミリリットルで一九％、つまり、およそ七割の人が毎日コップ一杯ほどの尿を飲んでいることになります。ほかに、出た尿のすべてを飲んでしまう人や、コップ二～三杯、さかずきに一杯程度という人もいましたが、これらはあくまで少数派です。

さて、これは私の意見ですが、毎朝規則正しく実行し、しかも、それほど病気がひどくならないうちに尿療法を始められるのなら、一日に五〇ミリリットル程度でも、体のバランスを保つうえでじゅうぶんだと思います。

朝寝、朝尿、朝湯が大好きで

問18 尿は朝一番のものがよいといわれるのはなぜですか

答18

アメリカのハーバード大学医学部の研究で、尿の中にはホルモンの一種であるSPUという尿性睡眠物質が存在することが発見されました。

この物質は、体内の病原菌などに対する免疫（細菌などを排除して発病をおさえる現象）を強化する働きのあることが知られています。

ところが、この物質は、昼間の活動中にはあまり産出されず、睡眠中に多く作られるという特徴があります。

したがって、朝一番の尿には、このSPUという物質が多く含まれているというのが、朝一番のものがよいとされる理由です。

ですから、二五ページの問16の項でいったように、最初のコップ半分ぐらいを捨てて、その後の尿を飲むのが一番いいのです。

ただし、昼や夜の尿を飲んで効果があった人もいるので、朝一番のものでなければ効かないというわけではありません。

問19　尿から作られる薬は多いと聞きましたが……

答19

日本では、製薬会社が、中国や台湾などから健康な人の尿を輸入して、以下のような薬を製造しています。

・血液溶解剤（脳の血管が詰まる脳血栓などの病気を起こしたときに、固まった血液を溶かす薬）
・血液循環強化剤（血液の循環をよくする薬）
・排卵促進剤（卵子の排出を促進する薬）
・脳下垂体ホルモン剤（脳の脳下垂体と呼ばれる部分から分泌される成長ホルモン薬）

ただし、尿から薬が作られることはあっても、その原料である尿そのものは薬剤ではなく、体内でできた自然な物質である点に注意してください。

問20　尿にはインターフェロンも含まれていると聞いたがほんとう？

答20

ガン細胞やウイルスの増殖をおさえるインターフェロンには、動物の体内で作られた天然のものと、遺伝子組み替えの技術を応用して作るものの二種類があります。

このうち、天然のインターフェロンは服用しても効果があり、しかも効果は、遺伝子組み替え型のものより三倍から五倍も強いことがわかったのです。

そんなことから、飲むインターフェロンはいま、アフリカのケニアで実際のエイズ治療に使われており、驚くほどの効果を発揮しているのです。

さて、この飲むインターフェロンは前述したとおり、動物の体内でしか作ることができません。私たち人間ももちろん動物ですから、その体内には自然とインターフェロンが作られているのです。

事実、ハムスターなどを使った動物実験では、人間の細胞を移植し、そこからインターフェロンを取り出すという方法がとられています。

人間の体で作られているばかりか、その尿の中にも、微量ながらインターフェロンが出てきていることが証明できるのです。

そんな尿を利用しないのは、不合理なことです。

問21　プロポリスと併用すると尿療法の効果が高まると聞いたがプロポリスとは何？

答21

プロポリスとはミツバチの巣に使われているニカワ質のことで、ミツバチが樹木などから採ってきた樹脂状の物を、唾液と混ぜて巣の中に塗りつけている物質です。巣の中にいる子供のミツバチを守るため、病原菌が侵入したり、外から帰ってきた親のミツバチの体に付着したウイルスを払い落としたりと、まるで精密工場のエアー・シャワーのような働きをします。

この強力な抗菌作用、抗ガン作用は昔から注目されてきましたが、人間が利用するには決定的な問題があったのです。

それは、プロポリスが水に溶けない性質を持っていることです。水に溶けなければ血液にも溶けません。せっかくのプロポリスの有効成分も、大量にとらなければ、体じゅうにはゆき渡らないのです。

ところが、最近、水に溶けるプロポリスが開発されました。白い粉末状のもので、水溶性のために吸収効率がよく、従来のプリポリスに比べて格段安価に利用できるようになりました。

尿療法を行う際、尿に溶かして飲むと、効果が早まるのです。

問22　プロポリスと併用するとどのような効果が高まるのですか

答22

フラボノイド、ルチン、ビタミンCを豊富に含んでいるプロポリスという食品は、尿に混ぜて飲みます。ごく軽い症状から、ガンなどの重い病気の人まで、幅広く尿療法の際に用いられています。

というよりも、このたび開発された水溶性のプロポリスは、そもそも尿療法と併用する目的で作られたのです。水溶性のプロポリスはライムやハーブの甘い香りがつけられているので、例えば尿をそうたくさん飲めない人が補強の目的で使ってもよいし、また、尿の中に溶かしてにおいを消すために使ってもいいのです。

においを消すと同時に、相乗効果も期待できるわけですから、まだ尿療法を始めるのをためらっている人にとって、これはかなりの朗報なのではないでしょうか。

問23　尿は粘膜や肌からも吸収されるというのはほんとう？

答23

口に限らず、鼻、目、耳、皮膚といった外気にさらされた粘膜の部位には、粘膜上皮細胞という細胞があります。この粘膜上皮細胞は、外界に接しているため、常に強力な免疫作用（病気に対して抵抗する力）を発揮して、体を病気から守ろうとしています。

そこで尿中の成分が刺激すると、免疫作用の作動スイッチが押され、生理活性物質（体内で細胞が刺激を受けると分泌される物質）が出動して、本来の健康な体に戻そうと働きます。

また、最近の研究によれば、尿中の生理活性物質が、口やのどの中にある顎下腺、唾液腺、扁桃腺、その他のリンパ腺から吸収されると、その効果を数倍高めているのではないかといわれています。

ですから、尿を、口から飲んだり、あるいは目や耳に入れたり皮膚に塗ったりすると、多くの病気に効くのです。

問24　口の中に含むようにすると効果が高まると聞いたがなぜ？

答24

これは問23（三二ページ）の答えでも述べたことですが、口の周りの粘膜上皮細胞や顎下腺、唾液腺、扁桃腺、およびリンパ腺などに尿が吸収されて刺激を与えることが、どうやら大変よい効果をもたらしているようなのです。

ということは、尿を一気に飲み干してしまうよりも、なるべく長時間、口の中にとどめておくほうが、これらの部位から尿中の有効成分が浸透するのに都合がよいのです。

私の手もとに、今年八十歳になる血友病（出血が容易に止まらない遺伝性の病気）の患者さんからのお手紙があります。毎日、高価な造血剤を用いても症状が進むばかりだったという血友病が、尿を飲み始めたところ、病状の進行がストップし、以来一年半どうやら健康な日々が送れるようになった、という感謝の内容でした。この人は、実は口の中に含むようにして尿を飲み続けてこられたのです。

確かに、それでなくても飲むことさえはばかられる尿を、しかも口の中に含むように

するわけですから、大変なことだと思われるでしょう。しかし、いざ慣れてくればそうでもないのです。案ずるより産むがやすしで、最初は少量ずつやってみてはいかがでしょう。

問25　尿は腸の働きを整える作用があると聞いたがほんとう？

答25

さまざまな研究や経験から、尿は乳酸菌などの腸内にすむ善玉細菌にとって、きわめて好適な栄養源になっていることがわかってきました。

それは、尿中に適量の窒素化合物と、バランスのとれたミネラルを含んでいるからです。

大腸の中で乳酸菌などの善玉細菌が増殖すれば、大便の量が増して、便秘の解消につながります。

また、善玉細菌によってアミノ酸（たんぱく質を構成する成分）、脂肪酸、ビタミンなどの有益な物質が作られるので、これを吸収して体内で再利用できるようになります。

問26　飲む尿は他人のものでも効果がありますか

答26

中国では、小児や処女の尿は、若返りの秘薬といわれています。しかし、病気の治療や健康維持のためなら、自分の尿を飲むに限ります。

もっとも、インドなどでは、毒ヘビに嚙まれて本人の意識がなくなったときは、そばにいる健康な人の尿を飲ませる（五〇ミリリットルずつを三時間おきに飲ませる）ことがあり、この場合の死亡率は、尿を飲ませないときの一〇分の一くらいだといわれています。

あれ、恥ずかしい

日本でも、フグの毒に当たったとき、解毒するには自分の尿を飲むのが最良であるとして、昔から、漁師の間で飲尿が行われてきたところもあるのです。

③好転反応への理解が成功の鍵

問27 尿療法を実行するとどれくらいで効果が現れることが多いのですか

答27

まず、『壮快』編集部に寄せられた二〇八人のアンケートの数字を見てみましょう。尿療法を開始して、どれくらいの期間で効果が現れたかという質問に、五一%の人が一ヵ月から六ヵ月の間だと答えています。

次いで、一日から二〇日の間が二七%、一週間から四週間の間だと答えた人が一四%、と続きます。

ただ、この数字には、病気がどの程度重くなってから尿療法を始めたのかが考慮に入れられていません。効果が現れるまでの期間が、病気の程度と密接に関わってくるのは当然です。ましてや、薬漬けになったあとでは、効果が現れるのが多少遅れてしまったとしても、なんら不思議ではないのです。

ですから、できることなら尿療法は、まだ健康がそれほど損なわれていない四十歳

代、五十歳代くらいから開始していただきたい、というのが私の考えです。

問28 尿療法が効いてくると体にどんな変化が起こってきますか

答28

尿療法を始めると、ほとんどの場合、すぐ次のような変化が現れます。

①血液の循環がよくなる
②血色がよくなる
③手足の冷えが解消する
④便通がよくなる
⑤手や肌がつるつるになる
⑥つめや髪の伸びがよくなる

ただし、これらの変化が訪れたあと、一定期間後に「好転反応」と呼ばれる症状が現れることがあります。特にリウマチ、痛風などに多く現れるようです。

この「好転反応」については問29〜問34で詳しく述べますが、一見症状が悪化したような状態になることと、覚えておいてください。

問29　尿療法には「好転反応」という関門があると聞きましたが……

答29

「好転反応」とは、尿を飲むことで症状が一時的に悪化したような状態になることをいいます。

尿が体内に入ると、尿酸をはじめとする尿中の成分があらゆる部分に吸収されて浸透していきます。すると、細胞が活発に活動を始めるため、体内のあらゆる部分に反応が起こります。このときに、好転反応が起きることがありますが、これを克服してこそ効果が得られるのです。

したがって、一時的に症状が悪化したからといって、早合点して尿療法をやめないようにすることが大切です。そのまま続けていけば、この症状は自然に消失します。

好転反応の主なものは、しっしん、吹き出物、下痢、微熱、患部の痛みの増強、歯や歯茎の痛み、唾液の増加、耳鳴り、疲労感などが代表的なところです。そのほかにも、目がしょぼしょぼする、筋肉がけいれんする、眠けが増す、頭の回転が鈍る、言葉がうまく出ない、などです。

しかし、好転反応はすべての人に現れるものではなく、またその現れ方も人により、病気によってまちまちです。

オレの病根は深いのか

問30　「好転反応」はすべての人に現れるのですか

答30

好転反応が現れる確率は、一〇人中二〜三人といったところです。

どのような体質や症状がある人に好転反応が現れるかは、はっきりとは断言できないものの、次のような人に出やすいことは確かです。

①長く病気を患っている人
②病根の深い人
③いままで病院の化学物質をたくさん使用してきた人

そのほかにも、アレルギー体質の人や、いきなり多量の尿を飲んだときなどにも現れやすいといえます。

問31 「好転反応」はいつごろ現れるのですか

答31

好転反応（こうてんはんのう）が現れてくる時期は、人によりさまざまです。例えば、尿療法を始めて一週間目くらいから始まる人もいれば、一ヵ月後、一年後になって現れてくる人もいます。しかし、多くは早い時期に始まり、短期間で消失してしまいます。

好転反応の現れるのが遅い人というのは、ほとんどの場合、一〇年、二〇年と病気を患っている人たちです。

しかも、その場合、好転反応は一度だけでなく、二度、三度と現れてくるのが一般的です。

これは、一見治ったように見えた病気が、完治しないまま残存していて、尿が古い順に体の表面に病気を押し出してくるためと考えられています。

ただし、そのような人の場合でも、好転反応が出てくる回数はせいぜい三回くらいが限度であり、それ以上続くことはありません。

あきらめずに続けてみようかしら……

問32 「好転反応」はどれくらいの間続くのですか

答32

好転反応は、現れてくる時期が不規則のように、それが続く期間も一定ではありません。普通は三日から一週間ほどで治まる人が多いのですが、長い人の場合は一ヵ月から一ヵ月半、またはそれ以上続く人がいます。

好転反応の期間中、一時的に神経の痛みが増強したり、全身に皮膚病のような症状が出るなど、とりわけ強い症状が出る人がいます。

それが長期間続くと、多くの場合、尿療法を断念してしまいがちですが、これはまさに病気が治る前兆なのですから、あきらめず最後まで継続してもらいたいと思います。

問33 尿療法の「好転反応」ではどのような症状が多いのですか

答33

好転反応とは、いってみれば、健康という子供を産む前にやって来る産みの苦しみ、とでもたとえられましょうか。尿の効果が優れているため、病気の表面だけでなく、根っこそのものがむき出しになり、完治する前に一時的に症状が悪化する現象をいいます。

尿療法の実行者にとっては、なんともやっかいな代物ですが、この好転反応に何%くらいの人がかかるのでしょうか。アンケートを集計すると、約半数の人が好転反応を経験しています。これは、ほぼ私の予想した数値でした。

では、好転反応によってどんな症状が引き起こされたのでしょうか。いちばん多いのが、体の各所が痛むことです。それにほぼ匹敵するのが、下痢を起こすことです。以下、体がかゆくなること、だるくなること、しっしんができること、肩がこること、熱が出ること、という順に続きます。

次に気になる好転反応の続く期間ですが、最も多いのが一ヵ月から三ヵ月で全体の四

〇%、一日から五日が二八%、一週間から二週間が一六%、八ヵ月が三%、という数値になっています。

問34 「好転反応」の上手な乗り切り方を教えてください

答34

問33でも述べましたが、好転反応は尿療法が効果を現し、病気が治る前に症状が一時的にぶり返す現象です。だから、これを化学薬品でおさえようなどとは、考えないでください。

どうしても好転反応特有の症状が我慢できないようでしたら、三日間ほど尿を飲むのをやめてみることです。あるいは、病院でビタミンCやミネラルの点滴をしてもらうこともいい方法でしょう。好転反応の症状が軽減されるはずです。

あらかじめ好転反応を予防したいのでしたら、尿療法を開始するにあたって、飲む尿の量をわざと少なめにしてみてはどうでしょうか。一週間ごとの飲む量を少量ずつふやしていけば、病根に対する刺激がやわらかいため、それだけ好転反応の起こる可能性も少なくなってくるのではないでしょうか。

④こんな心配はナンセンス

問35　尿療法を実行されている人はどんな人が多いのですか

答35

『壮快』編集部に寄せられた尿療法実行者二〇〇人のアンケートを集計し、結果をまとめると、男性が五六％、女性が四四％、男性のほうがやや多いことがわかります。

尿療法実行者の年齢を見てみますと、最も多いのが六十歳代の人で、全体の三七％、次いで、七十歳代の人が二六％、五十歳代が一七％、四十歳代が一三％、八十歳代が四％となっており、六十歳代をピークに四十歳代から八十歳代の中高年の人がほとんどです。ちなみに、実行者の平均年齢は六十二・三歳になります。

問36　腎臓病、生理中などの場合も尿療法を行ってよいですか

答36

腎臓病や糖尿病などに関しては、いままでに尿療法を行ってきた人たちの報告や外国の文献を見ても、有害だったという例はありません。むしろ尿は、弱った細胞の機能を活性化する働きがありますから、どのような病気であろうと積極的に飲むべきだといえるでしょう。

生理中の尿の場合も同じです。昔は、生理中の血液が混じったものが効くからと、求めてそれを飲んだ人がいたくらいです。しかし、どうしても気になるならば、ろ紙でこしてから飲むといいでしょう。

問37　尿がとても塩からいのですが、飲み続けてもかまいませんか

答37

尿の塩からさを心配する人の多くは、高血圧の人ではないかと思われます。ご存じのように、高血圧に塩分は禁物ですが、尿に含まれる塩分は、問題にする必要がないほど少量です。実際、塩水を飲めばのどは渇きますが、尿をいくら飲んでもそのようなことは起こりません。

また、尿の塩からさの元は、塩化カリウムと塩化ナトリウムによるものです。塩化ナ

トリウムが血圧を上げる作用を持つのに対して、塩化カリウムは、反対に血圧を下げる作用を持っています。

尿中に含まれる割合は、症状や個人の体調により異なるのは当然ですが、カリウムも含まれているので、血圧を下げる働きもあるのです。したがって、高血圧の人でも、尿の塩からさを心配する必要はまったくありません。

なお、暑い季節には、体の水分が汗となって蒸発するため、ふだん塩からい食べ物をとらなくても、尿が塩からくなることがあります。そのような場合、もし尿が塩からいことが気になるなら、水で薄めて飲めばいいでしょう。

問38　尿療法は子供が行っても害はありませんか

答38

害はありません。なぜなら、だれでも胎児のときは羊水の中につかって四六時中、自分の尿を飲んだり吐いたりしているからです（一日に五〇〇ミリリットル排尿し、ほぼ同量を飲むといわれている）。

子供がもし、小児てんかんやアトピー性皮膚炎などにかかって悩んでいる

なら、ぜひ尿療法を行ってみてください。本来は、自分の尿を飲ませるのがいちばんですが、子供がまだ小さくて、うまく尿を採れないようなときは、母親の尿を飲ませてもかまいません。その場合は、さじで一〜二杯毎日飲ませるとよいでしょう。

子供が嫌がって飲まない場合は、水で薄めたり、ジュースや母乳に混ぜたりして飲ませてもかまいません。

なお、尿療法は、妊婦が行っても問題ありません。

問39　尿中の有効成分は腸から吸収されても有効性を失わないのですか

答39

尿はほかの食物と同様、消化管を通る間に、体に必要な成分が上手に選択され、吸収されていきます。例えば、生理活性物質のような微量の有効成分は、口の中の粘膜などからまっ先に吸収されていくでしょうし、そうでない成分も大腸まで届いて、腸内細菌の栄養源とされ、便秘の解消に役立ったり、善玉菌によりアミノ酸（たんぱく質を構成する成分）やビタミンなどが作られたりするので、有効性を失わないのです。

⑤「尿療法」の意外な活用法

問40　尿をうがい、点眼などに用いる方法があると聞いたが…

答40

歯槽膿漏などの歯茎の病気、口内炎、舌の病気、また口の中をけがした場合など、尿でうがいをしたり、あるいはできるだけ長い時間口の中に含んでいれば、単に飲み込むよりも、症状がかなり改善されるはずです。その理由は、問23（三二㌻）および問24（三三㌻）の答えの中で述べたとおりです。

目がかすんだり、白内障（カメラのレンズに相当する目の水晶体が白く濁って視力が低下する病気）が始まりかけている人は、尿を目に点眼するとよいでしょう。点眼にはよい方法があります。コップいっぱいに注いだ尿に目を近づけ、そこで軽く一、二度まばたきをするだけでよいのです。

上下のまつげが、たくみに尿を適量、目の中にかき込んでくれるはずです。この方法だと、尿を指でさわる必要はなくなります。ただし、膀胱炎など、尿に細菌やウミが混

じっている病気の人は、目に尿をさすことはやめてください。

問41　尿のマッサージ、足湯、湿布も効果があると聞いたがどうするのですか

答41

尿マッサージは、吹き出物からガンまで幅広く有効で、飲尿と並んで昔から、頻繁に行われてきた治療法です。

手の指や手のひらにたっぷり尿をつけ、体にすり込むのです。患部に二〇分から一時間にわたってすり込み続けていると、かなりの効果が見られることでしょう。ヘビやハチなどにかまれたときも、昔からこの尿マッサージがよく行われてきました。

足湯は、水虫をはじめとした足の皮膚病に効果があります。洗面器やたらいに尿を入れ、いすに腰かけた姿勢で両足をつけます。尿の量は、くるぶしの上あたりまで、つかるほどあればじゅうぶんでしょう。ゆっくりと、三〇分から一時間ほど時間をかけてみてください。

尿の湿布は、病気ばかりでなく、美容のうえでも大変効果を発揮します。私の経験

からすれば、まず一〇歳は肌が若返るはずです。適当な大きさの布や脱脂綿を尿にしみ込ませ、患部に当てておきます。マッサージで尿をすり込むと気持ちが悪くなったり、傷ができていて痛んだりする箇所は、この尿湿布の方法を行うとよいでしょう。また、尿マッサージをしたあとに、尿湿布を行ってもかまいません。

問42　尿療法は美容にも効果があると聞いたのですが……

答42

尿を飲み始めると、病気が治るのはもちろんのこと、女性の場合は色が白くなる、シミが取れる、肌のつやが出てくる、白髪が出ない、などの若返り効果が期待できます。

尿素入り化粧品というものがありますが、尿素を取り出す作業は複雑なため、価格は大変高価です。その点、尿なら無料ですから、ぜひ積極的に活用してもらいたいと思います。

ちなみに、尿で行う美容法には、直接飲むこと以外にも、尿で顔を洗ったり、頭をシャンプーしたり、顔をパックしたりする方法などがあります。

問43　老化防止のために尿療法を行いたいのですが……

まあ、元気なおじいさん！

答43

効果が期待できますかなどと聞く前に、論より証拠、まず自分自身で試してみることです。

私の場合、現在八十歳を迎えたため、多くの友人はすでに亡くなったか、たとえ健在でも現役で仕事をしている者は一人もいません。

一方、私は、尿療法を一〇年以上行っているおかげで、いまもって健康なだけでなく、現役でバリバリ仕事をしています。この事実だけでも、尿はいかに老化防止に役立つかわかるのではないでしょうか。

とにかくやってみることです。

問44　尿療法は精力増強にも効果がありますか

答44

五一ジの問43とも関連しますが、老化防止に効果があれば、当然、精力増強にも効果は期待できます。

現に、私が知っている八十四歳の老人は、尿療法のおかげで「何十年ぶりに朝立ちが始まった」といって大変喜んでいました。

若返りのために飲むなら、小児や処女の尿を飲むという方法が中国で行われているとさきほど述べました。しかし、それが絶対に効果があるかは、比較研究した例がないのでなんともいえません。私の考えでは、自分の尿が採れれば、無理に他人の尿を飲む必要はないと思います。

しかし、なにはともあれ、希望を捨てずに頑張ってみることが大切です。

問45　尿療法は病気の予防にも効果がありますか

死神も逃げ出す尿療法

答45

病気になった人が行うから療法というわけですが、尿療法の場合、病気の予防にも効果があるのが特徴です。

以前、あるテレビ局の討論会で、医事評論家から「治療と予防がいっしょにできること自体がおかしい」といわれたことがありました。確かに、抗ガン剤を毎日飲んでもガンの予防にはならないし、半身不随の改善によいという薬では、脳卒中が防げないのも同様です。

ところが、尿療法は、ガンを撲滅させる効果があると同時に、予防効果も期待できるのだから、知らない人が聞くと不思議がるのも無理はありません。このような働きは、まさに尿特有だといってもよいでしょう。

その理由は、尿は薬品ではなく体内から生じた物質であるという点にあるのです。好転反応を除けば、副作用はまったくないし、病気予防には毎日おちょこ一杯ずつ飲み続ければ、体内に潜む病気の芽を探し出し、悪い部分を修正してくれるのです。

⑥世界も尿療法に注目しはじめた

問46　尿療法の効果や仕組みは科学的に解明されているのですか

答46

尿という物質を飲むことで病気がよくなるのは、科学現象ではなく、一種の生命現象に近いものです。そのため、尿療法が病気を治すメカニズムは、ほとんど解明されていないというのが現状です。

いろいろな食品も、体内で血液に変わるのですが、どのようにして血液になるのかそのメカニズムは不明です。同様に、尿の生命体への影響も、不明の部分も残ると考えられます。

ただし、尿を飲むとなぜ病気が治るかについての推論は可能ですから、八㌻の問2の答えを参照してください。

なお、尿療法の効果や効く仕組みについては、現在、世界的に有名な研究機関である林原（はやしばら）生物化学研究所（岡山県）というところで研究が行われているため、近い将来その

一部が解明されるかもしれません。

問47　尿療法はなぜ現代医療に取り入れられていないのですか

答47

万病に効くといっても過言ではないほど効果的な尿療法が、現代医療として認められないのは、大きく分けて以下の四つの理由によるものです。

一つ目は、大正から昭和にかけて医学教育の中で、尿があらゆる病気に効果があるということを教える人、あるいは教えられる人が一人もいなかったため、尿療法に関する知識を持った人が育たなかったからです。

二つ目は、たとえ尿療法の効果を認めたとしても、尿療法を治療に取り入れると、医薬品の大半が不要となり、医業として成り立たなくなるからです。

三つ目は、例えば糞尿（ふんにょう）という言葉が示すように、尿は大便と同様、排泄（はいせつ）される汚物（おぶつ）であるという偏見があって、長い間かえりみられる存在ではなかったことです。

四つ目は、尿療法が広がってまだ一〇〇年ほどしかたっていないため、尿療法を科学的に分析し、利用する方法が開発されていないことがあげられます。

なかでも、最も大きな理由は、尿は汚物だという感覚が定着しているためだと思われます。

問48 ネズミを使った尿療法の実験が行われているそうですが……

答48

飲むインターフェロンを開発した林原生物化学研究所が、現在、実験を行っています。

実験用ネズミに、ネズミ自身の尿、それと人間の尿を与え、貧血、胃潰瘍、糖尿病、ガンなどにどれくらい効くかを調べたものです。細かい実験結果はいままとめている最中です。

胃潰瘍を例にとると、尿を飲むことによって、発生率が六〇％低下するとのことです。また、ある部位にできたガンにも有効なことがわかってきました。

さらに、ネズミに人間の尿を飲ませるよりも、ネズミ自身の尿を飲ませるほうが、より効果が高かったということです。尿は、やはり血清ワクチンといえます。

問49 「尿療法などやるべきではない」という医師もいますが……

答49

尿療法を始めてみようと思う人の中には、尿療法の解説書や体験談を読んだだけでは確信が持てず、かかりつけの医師に相談する人がいます。

おそらく、医師なら尿療法に関する知識を持っているだろうと思って相談するのでしょう。

その場合、相談された医師が「自分は尿療法をやったことがないので、実践している医師に聞いてほしい」というのならわかります。

しかし、尿療法のことはなにも知らないのに、「尿を飲んで病気が治るわけがない」などという医師が多いので困るのです。

私は常々、このような尿療法への否定的な意見があるなら、「堂々と論戦しよう」と述べていますが、実際に出てきた人は一人もいないのです。

尿療法を否定する根拠があってそういっているわけではなく、なにも知らずに、普通の人が「尿は汚い」と思っているのと同じレベルで話しているにすぎないのです。

問50　世界では尿療法はどのように普及しているのですか

答50

もちろん現在、尿療法が最もさかんに行われている国は、日本です。

しかし、尿療法のルーツをたどっていけば、古代ローマ帝国、中国、インドといった名だたる古代文明の発祥地で、それに近いことが行われていたという古い文献に突き当たります。

そんな遠い過去の記憶が、二十世紀の終末期を迎えた現代に再び呼びさまされたのでしょうか。我が日本における尿療法のブームが、世界各国の医療従事者に強い衝撃を与え、翻訳本の出版や実際の臨床現場で活かされ始めているのは確かです。

アメリカ、イギリス、中国、韓国、フランス、ブラジルといった国々で、尿療法が静かなブームを巻き起こし始めていることが、そうした現象の雄弁な証明だと私には思われてなりません。

◆第2章

尿療法はこんな病気に特に効く

*ガン、成人病、内臓の病気にすばらしい効果

ガンに効果があった！

ガン、糖尿病、リウマチなどの病気の人は、さまざまな治療を受け、一〇年、二〇年と病んだ末、ようやく尿療法にたどりつく――このようなケースが実に多いようです。

私のこれまでの経験では、それでもなお、治る人が大勢いるのです。この事実を見るだけでも、尿療法がいかに優れた治療法であるかがわかります。

次の例の女性の体験のように、尿療法がガンの症状を好転させる例は多く、食道ガン、肺ガン、胃ガン、前立腺ガン、直腸ガン、子宮ガン、乳ガンなどの患者さんから、症状が改善したという報告が多数寄せられています。

しかし、ガンの場合、手術によるガンの除去、制ガン剤や放射線による治療などを経て、万策つきてから尿療法を始める人に対しては、同じような効果を期待するのは難しいでしょう。

ガンの治療については、現代医学で一般的な、早期段階での切除手術――これが可能なら、まず病巣を切除し、そして、再発やガンの転移を防ぐ手段として尿療法を実行するとよいと考えられます。

ガンに効果があった例（四十七歳・女性・広島県・主婦）

私は、二四年前から、尿療法というものがあることは知っていましたが、飲尿を始めたのは平成二年四月からです。

実は、昭和六十三年に、頸部腫瘤を取り除く手術を受けました。首すじのリンパ腺が腫れてできた腫瘤を、手術で取り出したのです。ピンポン球を少し小さくしたような腫瘤が、三個も出てきました。

医師からは、悪性のガンだと教えられました。肺か腎臓、あるいは肝臓から転移したもののようでした。

リンパ腺の手術以後、なんの手術もしなかったのは、私の体全体がガンに冒されていて手術ができなかったからだと思います。以後、私はずっと抗ガン剤を投与されました。

退院後一年足らずで、手や足に紫色の斑点が出てきました。セキもだんだんひどくなり、息苦しくなり、食欲もなくなりました。

顔、手、足などの皮膚はどす黒く、さらに、黄疸（肝臓から分泌される消化液の胆汁の色素が血液中に流れ出し、皮膚や目などが黄色になる病気）が出ているのでしょうか。黄色味も帯びてきました。

また、頭から足まで、痛みと焼けつくような熱さが襲ってきて、家事はおろか、起き上がることさえ困難な状態でした。

このようなときに、尿療法でガンがよくなったという話を聞き、早速試したのです。私の場合、尿は一日に四〇〇～一二〇〇ミリリットル飲み、抗ガン剤は中止しました。

尿療法を始めて一週間ぐらいで、紫色の斑点と黄疸が消えました。その後、頭から足までの痛み、熱さもだいぶ楽になりました。

そして、驚いたことに、病院での数回の検査の結果、甲状腺にはガン残っているものの、他の部位に転移していたガンはきれいになくなっていたのです。

糖尿病や心臓病が治った！

病気は、根本から治療しなければ完治しません。

例えば、糖尿病では、血糖値（血液中の糖分量を示す値）を下げるためにインスリンというホルモン剤の注射をしますが、大本の膵臓（インスリンを分泌する臓器）の機能が回復しないかぎり、いつまでも注射し続けなければならないのです。

しかも、インスリンが注射で補給され続けられるために、膵臓の機能は回復どころかますます低下してしまうことになります。

ところが、尿療法を行うと、膵臓の低下した細胞の機能が活性化されるのでしょう。膵臓からのホルモンの分泌量がふえて、血糖値が正常化してくるのです。

このようなことは、実際に尿療法を体験してみなければ納得できないでしょう。尿療法が糖尿病に効果を発揮する仕組みは、さきほど述べたような推定の域を出ず、血糖値が下がった、膵臓の機能が回復した、という事実だけが先行しているのです。

以上のような尿療法の効果から考えられるのは、尿療法は、人間の体に本来備わっている病気を自然に治そうとする力、すなわち自然治癒力を増強するのではないかということです。

だからこそ、自律神経失調症（意志とは無関係に血管や内臓などを支配している神経の不調によって起こる病気）やぜんそくなどのように、現代医学が不得手とする病気に対しても、尿療法は治癒にまで導くことが可能となるのです。

また、高血圧や狭心症（心臓の筋肉に栄養を送る血管が狭くなり、胸痛などの症状を伴う病気）のように、血管や心臓などの病気には、原因不明のもの（例えば、本態性高血圧症など）もありますが、このように原因のまったくわからない病気に対しても、尿療法は効果を現します。

私は、尿療法が体全体の血液の循環をよくする働きがあると考えています。尿療法を行うと、血行が改善され、それによって体の細胞が活性化して、体の自然治癒力が増強します。そのために、さまざまな病気に効果を発揮すると思われるのです。

ただし、尿療法は、即効の薬ではありません。高血圧の場合などは、むしろ、ゆるやかに効いてくる、と考えたほうがよいでしょう。効果が現れるには、半年とか一年以上かかることが多いのです。

ですから尿療法で効果が現れるまでの間は、高い血圧をそのままにしておいては危険なこともあります。

したがって、高血圧の人が尿療法を行う場合は、血圧を下げる薬剤も併用すべきなのです。そして、血圧が下がって安定してきたら、薬の服用をやめて、尿療法だけ続ければよいのです。

また、高血圧や肝炎などの場合、尿療法を始めると、血圧や肝機能検査値が、必ず大きく上下するようです。ですから、そのような数値の変動に一喜一憂せずに、尿療法を続けることです。

慢性肝炎や肝硬変（肝臓の細胞が全体的に壊れて繊維化し、肝臓が硬くなって機能を果たさなくなる病気）なども、難治の病気ですが、尿療法を行うと、自然治癒力が増強されるのでしょう。症状がしだいに回復してきた、という報告が実に多いのです。

胃潰瘍やポリープが消えた

胃潰瘍、ポリープなど消化器の病気も、尿療法を早期に実行すれば、改善は比較的早いものです。

胃の粘膜のびらんは、もちろん胃潰瘍に次いでガンに変化するおそれもある病気です。しかし、尿療法を六ヵ月間実行した後の検査では、著しく改善した例が多く報告されていますので、読者のみなさんも大いに参考になることと思います。

尿療法によってポリープが消失した例は、非常に多

く、ふだんから尿療法を実行していれば、ポリープの発生や再発も防ぐことが可能といえるでしょう。

便秘は、一般に女性に多いようです。昔から快食、快便、快眠が、健康にとって最も大切であるといわれているのですが、この原則は、現代においても変わりありません。

便が長時間、腸内に蓄積され続けていると、腸の栄養吸収の障害になります。また、習慣性の便秘は、体の老化を早め、ガンやその他の成人病への引き金となるのです。

尿療法を始めると、便秘が改善するのが一般的ですが、中には、逆に便秘になる人もいます。また、尿療法を始めると、一時的に下痢する人もいますが、これらの場合は、尿を飲み続ければ、自然に治ります。

いずれにしても、尿療法を始めて下痢をした人は、尿を飲む時刻を、朝から夕方に変えたり、食後に変えたりする工夫が必要でしょう。

慢性の虫垂炎などのような炎症性の病気にも、尿療法は効果を発揮します。尿を飲むことによって、自然治癒力が増強されるためでしょう。

*アレルギーやアトピーが治った

ぜんそくや鼻炎にすごい効果

私は、ときどき、「尿療法を一年間も続けてきたが、まだ、あまり効果が現れないのですが……」といった相談を受けることがあります。

しかし、何年間もありとあらゆる治療をやっても、病気が治るどころか、症状がしだいに悪化していたものに、尿療法を半年とか一年やったぐらいで、効果が

必ず現れる、とはいえないのです。

尿療法をやれば、すぐにでも効果が現れる、と期待する気持ちも、よくわかります。けれども、走って前進している車でも、一度は停止しなければ、逆進はできないのです。

尿療法を始めてみたものの、あまり効果が現れない、といって尿療法をやめてしまう人もいるようですが、このような人は、さらに病気に苦しむ可能性が大きいのです。

尿療法によって、症状が悪化しない、というのであれば、これは、むしろ病気がよくなる前段階と考えていただきたいものです。

ぜんそくなど、アレルギー性の病気については、アレルゲン（アレルギー反応を引き起こす原因物質）を探り当てて、それを除去したり、その物質に慣れるようにしたりする治療法が一般的です。

しかし、尿療法の場合は、アレルゲンを探り当てる必要はありません。その人自身の血液から分離された尿を飲むだけでいいのです。その証拠に、ぜんそく、花粉症、アトピー性皮膚炎など、さまざまなタイプのアレルギー病に、尿療法が著効を発揮した例が実に多いのです。

ぜんそくには、気管支ぜんそく、心臓ぜんそくなどのタイプがありますが、尿療法を行う場合は、そのタイプにこだわる必要はありません。尿療法でぜんそくが治ったとか、軽快したといった報告は、実に多いのです。

蓄膿症や花粉症もみごと撃退

たった三日で蓄膿症が治った例も報告されています。

ひと口に蓄膿症といっても、障害されている鼻の部位もその程度も、人によってまちまちで、手術すら簡単にはできない蓄膿症もあります。

ですから、尿療法の効果も人によって千差万別です。同じ蓄膿症であっても、尿療法の効き方はまったく違ってくることを理解してください。しかし、それは違っていて当然なのです。

尿療法でアレルギー性鼻炎を治された方もいます。このようなアレルギー性の病気に対して、尿療法を行うと、一時的に、症状が悪化する場合があります。これを好転反応といいますが、この反応が現れた時点で尿療法を中止する人が多いようです。しかし、それでは病気は治りません。

花粉症にも、尿療法が効果を発揮しますが、この場合も、一時的に症状が悪化することが多いのです。

ですから、尿療法を行うときは、こうした好転反応を恐れることなく続ける、意志の強さも必要です。

よく患者さんから、同じ病気の人の例を詳しく教えてほしいという声を聞きます。しかし、尿療法では、すべての人に共通するような経過はたどらないといっていいでしょう。

長期間、なんの効果も現れないで、尿療法を続けていたら、半年くらいたってから、いろいろな症状が改善してきた——といった例は、枚挙にいとまがありません。

ところで、尿療法を二〜三ヵ月続けてなんの効果も現れないことはよくあります。こんなとき、尿療法は効果なし、とあきらめてはいけません。尿療法の効果が現れるのを待つ「忍耐」と、尿療法は必ず効くという「信念」を持つことが大切です。実際、そうした忍耐と信念を持ち続けて病気を治した人が多いのです。

白内障、耳鳴り、うつ病にも有効

高血圧や心臓病などに付随してよく現れる頭痛、耳鳴りなどは、尿療法によってその元の病気が治っていくのと同時に、症状も軽減されていきます。

目の病気——特に白内障は、尿療法が得意とする病

気で、尿を目の点眼薬として併用することで、視力が回復した報告例は跡を絶ちません。

尿を飲んだら、イビキをかかなくなった例もありますが、尿療法を行えば、鼻炎など鼻の障害が、取り除かれるという例が多いことからも、なんらかの形で鼻の機能が改善されて、イビキが解消されたと考えられます。

例えば、一〇年以上苦しんだ腰痛が、たった六日の尿療法で、うそのように消えた——などの例で示されるように、西洋医学にはとうていできないような強い効果が、尿療法を行うことによって得られます。それは、まさに神秘的といって過言ではないでしょう。

最も一般的で、病気として扱われることのない、例えば肩こり（原因は未だに不明ですが）などもそうですが、こうした原因不明の症状も、尿療法なら簡単に治すことができるのです。

また、年を取ると、腎臓が萎縮して、尿意が頻繁に起こることがあります。高齢者に多いのが、このタイプの頻尿です。このようなタイプの頻尿の人が、尿療法を実行すると、尿の効果で腎臓の働きが活発になり、腎機能も正常化して、尿の出が正常になるようです。実際、尿療法で頻尿が治ったという報告は、私のところにたくさん届いています。

老化の一つの症状として現れる前立腺肥大は、多くの高齢者を苦しめているやっかいな病気の一つです。

前立腺肥大症（尿道を取り巻くクリの実大の男性の性殖器の一部が肥大する病気）では、排尿するときの痛みが消えるだけでも、大きな喜びとなります。

尿療法はしっしんにも有効です。しっしんは、季節によって症状が変化するのが普通です。したがって、一見治ったように見えても、再発をくり返すことが多いものです。

このようなしっしんに対しては、尿を患部に塗ったり、飲んだりしながら、根気よく尿療法を続けていけ

ば、完治させることも不可能ではありません。
尿療法は、現代医学では、完治がほとんど不可能と考えられているさまざまな病気に、効果を発揮すると考えてよいでしょう。
その一つにうつ病があります。うつ病も、なぜか尿療法の奇跡的な効果を体験できる病気の一つです。尿療法でうつ病が治った症例は実に多いのです。
尿療法は、病気になる前に予防法として実行してほしい、というのが私の願いです。たとえさかずき一杯からでも、健康なときから飲んでほしいと思います。

＊シミ、白髪が消え美肌効果も抜群

強精効果も高くご夫婦にお勧め

尿療法で、肌が美しくつややかになる、黒髪がふえる——といった若返り効果は、実行者のだれもが感じる共通点のようです。
日に日に髪が黒くなっていくのがわかるというのは、まったく驚異的な事実です。
それと同じことは、精力についてもいえます。ご夫婦いっしょに尿療法を試してみるようお勧めします。

尿で顔を洗って肌がきれいになったり、シミが取れたりするのは、尿に含まれる微量の物質の作用によるものと思われます。
アレルギー性のじんましんも、一般的には多くみられる症状ですが、現代医学の治療法では、なかなかよい効果が得られていないようです。現代医学では、アレルギーを起こす原因物質によって、治療法も変わってきますが、原因物質がなんであろうと、効果が期待できる点が、尿療法の優れたところでしょう。

◆第3章

病気別二〇〇例の実践データ

データからわかる尿療法の効果と真実

・尿療法は同時に複数の病気に効く

尿療法が、健康誌『壮快』に初めて紹介されたのは、一九八八年の四月号です。それから四年、尿療法の実行者はどんどんふえ続けました。そして、その実行者数が爆発的な勢いで増加したのは拙著『奇跡が起こる尿療法』（中尾良一編著、小社刊）が発刊された一九九〇年三月からのことです。

『壮快』編集部では、尿療法の効果を知るために、一九九一年の春、五〇〇人の実行者を抽出して調査をしました（二〇八人が回答）。七二〜九一ページの実行者の一覧表は、その中から病気別に二〇〇例を整理したものです。この一覧表をじっくりご覧になれば、尿療法をどのように実践すればよいか、どのような効果があがるかが、よくおわかりになることと思います。

実行者二〇八人の回答の分析結果を簡単に説明しましょう。

☆尿療法実行者の平均年齢……六十歳代の人が最も多く、実行者の平均年齢は六十二歳となっています。

☆尿療法の開始時期……尿療法を始めた時期は、一九九〇年五〜八月にかけてが最も多く、新聞、テレビ、雑誌などに尿療法がさかんに取り上げられた時期と一致しています。

☆尿療法の効果の範囲……一覧表をご覧になればおわかりのように、ありとあらゆる病気の名前があげられています。特に、尿療法の実行者は、複数の病気を患っている人がほとんどで、そのために、さまざまな病名があげられ、しかも、尿療法が複数の病気に効果をあげていることがわかります。

☆毎日の飲尿量……毎朝飲む人が九割以上、ごく少数の人が一日五〜六回飲んでいます。飲尿の量は毎日二〇〇ミリリットル（コップ一杯）の人が七割を占めています。

☆効果が現れた時期……約半数の人が一〜六ヵ月で効果が現れています。早い人は一ヵ月以内に効果が現れています。

そのほか、高血圧や心臓病に効果が大きく、約半数の人に好転反応（こうてんはんのう）が現れていることがわかります。

＊ガン、腫瘍

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
1 53歳男	自由業	埼玉	こう丸腫瘍	平成2年12月	無記入	2日	こう丸腫瘍	下腹部のしこりが消えた	無			時間、回数を決めずに毎日900mℓ
2 49歳女	主婦	神奈川	子宮筋腫、便秘、わきばらの痛み	平成1年11月	親戚の勧めで	6ヵ月	子宮筋腫、わきばらの痛み、便秘、カゼ	子宮筋腫の痛みが軽くなった、わきばらの痛みが軽くなった、便通がよくなった	有	下痢、顔のしっしん	無記入	朝一番の尿をコップ1杯
3 41歳女	主婦	福岡	のどの腫瘍	平成2年8月	無記入	1週間	のどの腫瘍	のどのしこりが小さくなった	有	体がだるくなった	無記入	毎朝40mℓ
4 63歳女	主婦	三重	乳ガン	平成2年9月	知人の勧め	1週間	乳ガン	手術の傷口がきれいになった、顔色がよくなった、夜よく眠れる	有	まぶたが腫れてきた	無記入	1日3回コップ1杯ずつ
5 75歳男	ホテル業	北海道	膵炎、上顎腫瘍	平成3年2月	壮快を読んで	3～4日	便秘、あごの腫瘍、カゼ	便秘が治った、体が軽くなった、あごの腫瘍が完治、カゼ知らず	有	胃部の圧迫感、倦怠感	4～5日	毎朝200mℓ

＊糖尿、膵臓

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
6 74歳男	無職	滋賀	脳卒中の後遺症、糖尿病	平成2年4月	週刊現代を読んで	便秘は1ヵ月、足腰の痛み6ヵ月	便秘、足腰の痛み、糖尿病	便秘が治り、足腰の痛みが消え、血糖値が下がった	有	全身のかゆみ	2ヵ月	朝夕2回180mℓずつ
7 64歳男	無職	岡山	糖尿病、腰痛、歯槽膿漏	平成2年5月	テレビで見た	腰痛4日、歯槽1ヵ月、糖尿3ヵ月	糖尿病、腰痛、歯槽膿漏	血糖値が正常になった、普通に歩けるようになった、歯茎の出血が止まった	無			毎朝270mℓ
8 65歳女	主婦	静岡	便秘、高血圧、高血糖値	平成2年2月	夫に勧められて	1週間	便秘、高血圧、高血糖値	便秘が治った、血圧・血糖値が下がった	無			起床時180mℓ
9 69歳男	無職	北海道	慢性腸カタル、糖尿病	平成2年2月	壮快を読んで	2週間	慢性腸カタル、糖尿病	腸の痛みが消えた、口の渇きが消えた、夜間頻尿も治った	無			毎朝180mℓ
10 63歳男	無職	和歌山	肝臓病、糖尿病	平成1年1月	壮快を読んで	1週間	肝臓病、糖尿病	肝機能値がよくなった、インスリンの注射量もへった	有	下痢	1週間	毎晩200mℓずつ
11 77歳男	無職	福井	高血圧、糖尿病、動悸	平成2年4月	週刊ポストを読んで	1年	高血圧、糖尿病、夜間頻尿、動悸	血圧、血糖値が下がった、夜間頻尿、口の渇きが治った、動悸が消えた	無記入	無記入	無記入	夜中に50mℓ
12 80歳男	無職	栃木	糖尿病、腎臓病、心臓病	平成2年10月	壮快を読んで	2ヵ月	糖尿病、腎臓病、心臓病	血糖値が下がった、息苦しさがやわらいだ、尿の量がふえた	無記入	無記入	無記入	毎日夜間コップ1杯を3度
13 42歳女	農業	長野	慢性胃炎、胃ポリープ、子宮筋腫、糖尿病	平成2年3月	無記入	3～4ヵ月	血糖値をコントロール、胃痛、月経過多	血糖値が下がった、胃痛が消えた、月経の出血量が少なくなった	無			毎朝180mℓ
14 49歳女	無職	富山	胃潰瘍、膵臓炎	平成2年9月	夫に勧められて	2～3週間	胃と膵臓の痛み、耳鳴り、肩こり、低血圧	胃と膵臓の痛みが消えた、耳鳴り、肩こりが消えた、低血圧が正常になった	無			毎朝200mℓ
15 71歳男	無職	鹿児島	糖尿病、心筋梗塞、胃潰瘍、腰痛	平成1年10月	医学と医療を読んで	2ヵ月	腰痛、低血圧、糖尿病	腰の痛みから解放された、低血圧が正常化、血糖値が安定	無			毎朝・毎夕200mℓずつ
16 70歳女	主婦	静岡	糖尿病	無記入	テレビを見て	12日	血糖値	血糖値が下がり、血色がよくなった	有	じんましんが出た	無記入	毎日300mℓ
17 70歳男	会社役員	大分	糖尿病、咽頭ガン	平成2年8月	壮快を読んで	2ヵ月	糖尿病、カゼ	血糖値が下がり安定した、カゼ知らずになった、体重がふえた	無			毎朝200mℓ
18 65歳男	会社役員	広島	糖尿病、膀胱障害	平成2年7月	壮快を読んで	3日	血糖値、膀胱の痛み、疲労	元気が出た、疲れない、膀胱の痛みがなくなった、血糖値が向上	無			毎朝毎晩200mℓずつ

＊肝障害

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
19 66歳男	無職	三重	肝機能低下、不整脈、腹水	平成2年8月	知人の紹介	約3ヵ月	肝機能の低下、不整脈、腹水	発熱、食欲減退、不眠、不整脈が消失	有	下痢	無記入	朝一番の尿を全部
20 63歳男	無職	和歌山	肝臓病、糖尿病	平成1年11月	壮快を読んで	1週間	肝臓病、糖尿病	肝機能値がよくなった、インスリンの注射量もへった	有	下痢	1週間	朝晩200mℓずつ
21 53歳男	農業	鹿児島	高血圧、慢性肝炎	平成2年11月	人に勧められて	肝機能値の向上1週間、高血圧1ヵ月	高血圧、慢性肝炎、食欲不振	血圧が正常値になった、肝機能値が下がった、食欲が出た	有	血圧と肝機能値が異常に上昇	7～30日	1回180mℓを1日に3～5回

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状
22 29歳男	会社員	新潟	C型肝炎	平成2年11月	上司の勧め（本とビデオ）	1週間	肝炎
23 54歳男	病院勤務	富山	肝硬変、手のしびれ・ふるえ	平成2年7月	奇跡が起こる尿療法読んで	3週間	手のふるえ・指のこわばり、肝硬変、ニキビ
24 47歳女	主婦	広島	悪性リンパ腫	平成2年4月	奇跡が起こる尿療法読んで	2日	体中の骨の痛み、黄疸、肌の紫斑
25 73歳男	調理師	長崎	アルコール性肝炎、痛風、慢性胃炎	平成2年7月	壮快を読んで	7ヵ月	貧血、慢性肝炎、痛風

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状
26 64歳男	無職	東京	心臓病、高血圧、気管支炎、不眠症	平成2年6月	壮快を読んで	2ヵ月	心臓病、高血圧、気管支炎、不眠症
27 66歳男	無職	三重	肝機能低下、不整脈、腹水	平成2年8月	知人の紹介	約3ヵ月	肝機能の低下、不整脈、腹水
28 72歳男	無職	山形	高血圧、白内障、肺気腫	平成1年4月	試してみたいと	3ヵ月	心臓の発作
29 68歳女	主婦	愛知	便秘、膀胱炎、心臓病	平成1年11月	友人から聞いた	3ヵ月	便秘、膀胱炎、心臓病
30 72歳女	無職	愛知	心筋梗塞、高血圧、動脈硬化、関節炎	平成2年6月	無記入	飲んだその場で	心筋梗塞、高血圧、動脈硬化、関節炎
31 75歳女	無職	静岡	心臓病、貧血	平成2年3月	壮快を読んで	6ヵ月	心臓病、貧血
32 77歳男	無職	福井	高血圧、糖尿病、動悸	平成2年4月	週刊ポスト読んで	1年	高血圧、糖尿病、夜間頻尿、動悸
33 67歳男	パート	静岡	高血圧、変形性膝関節炎、前立腺肥大、肩痛	平成2年5月	壮快を読んで	2ヵ月	高血圧、変形性膝関節炎、動悸、頻尿
34 61歳男	無職	愛知	狭心症、胆石	平成1年11月	壮快の新聞広告見て	10日	狭心症、胆石
35 65歳男	自営業	埼玉	狭心症、高血圧、水虫便秘、腰痛、頭痛	平成2年6月	テレビで見て	3日	高血圧、狭心症
36 65歳男	無職	神奈川	高血圧、心臓病、痔、蓄膿症	平成2年5月	壮快を読んで	2ヵ月	高血圧、心臓病、痔、蓄膿症
37 80歳男	無職	栃木	糖尿病、腎臓病、心臓病	平成2年10月	壮快を読んで	2ヵ月	糖尿病、腎臓病、心臓病
38 67歳女	無職	神奈川	不整脈、目の疲れ	平成2年12月	壮快を読んで	1ヵ月	不整脈、目の疲れ
39 71歳男	会社経営	神奈川	狭心症、糖尿病	平成2年1月	壮快とテレビ	2ヵ月	胸痛発作
40 72歳男	無職	鹿児島	ぜんそく、甲状腺異常、心筋梗塞	昭和63年10月	壮快を読んで	7日	甲状腺肥大、心臓病
41 68歳女	無職	福岡	心臓病、高コレステロール血症	平成2年9月	友人に勧められて	1ヵ月	心臓病

＊肝障害

現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
肝機能値が改善	有	ひどく体がだるくなった	無記入	毎朝150mℓ
手の指のふるえ・こわばりが消えた、肝機能値がほぼ正常化、ニキビが取れた	有	骨折・ねんざなど過去に障害した部分が痛む	無記入	毎日800～1000mℓを数回に分けて
体中の痛みが楽になった、黄疸が消えた、肌の紫斑も消えた、歩行が楽になった	有	ガンの症状がすべて出る	無記入	毎日5～6回で計400～1200mℓ
貧血・アルコール性肝炎・痛風の検査数値が正常化	無			毎日200mℓ

＊心臓

現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
熟睡できる、背や腰の痛みが消失、血圧も安定	有	体が熱くなった、体がふらふらになった	2～3日	朝夕180mℓずつ
発熱、食欲減退、不眠、不整脈が消失	有	下痢	無記入	朝一番の尿を全部
心臓の発作が止まった	無			朝コップ1杯
便通がよくなった、膀胱炎が起きない、心臓の発作が起きない	有	肩こり、頭痛	3ヵ月	毎朝200mℓ
心電図、血液検査で異常なし、黒い髪が生えてきた、コブが消えた	有	体が重だるい	2ヵ月	コップ8分目を1日7～8回
10年来の心臓病が検査で「異常なし」といわれた、体が軽くなった	無記入	無記入	無記入	1日コップ2杯
血圧、血糖値が下がった、夜間頻尿、口の渇きが治った、動悸が消えた	無記入	無記入	無記入	夜中に50mℓ
血圧が下がった、ひざの痛みが軽くなった、頻尿が治った、肩痛が消えた	無			毎朝コップ1杯
発作の回数がへった、胆石の痛みが軽くなった	有	一時的に神経痛の痛みがひどくなった	無記入	朝一番の尿をコップ半分
体が軽くなった、疲れなくなった、血圧が下がった	有	涙目、胸痛、腰の重だるさ、体のかゆさ	無記入	1日2回100mℓずつ
血圧が下がった、息切れしなくなった、便秘、痔、蓄膿症が軽快	有	体のふらつき	無記入	毎朝3時ごろ180mℓずつ
血糖値が下がった、息苦しさがやわらいだ、尿の量がふえた	無記入	無記入	無記入	毎日夜間コップ1杯を3度
不整脈が改善した、尿の点眼で目がよく見えるようになった	有	タンがたまるようになった	無記入	毎朝200mℓ
1ヵ月に2回は胸痛発作がある	無			毎朝200mℓ
赤ら顔、甲状腺の腫れが消えた、心臓病が楽になった	無			毎朝200mℓ
胸がなんともなくなり、体が軽くなって足運びも楽になった	無			毎朝250mℓ

＊心臓

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
42 54歳男	施術師	東京	不整脈、冷え症、歯槽膿漏、水虫、腰痛	平成2年6月	壮快を読んで	3ヵ月	不整脈、カゼ、胃弱、気管支炎、口内炎、わきが	不整脈がよくなった、胃腸が丈夫になった、タンが切れた	有	汗の臭いが強くなった	無記入	毎朝200mℓ
43 68歳男	無職	静岡	動脈硬化	平成3年5月	妻が尿療法をやって効果をあげた	1日	動脈硬化	動脈硬化の薬が不要になるほど体調が好転、よく眠れるようになった	無			毎朝20mℓ、毎夜180mℓ

＊高血圧

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
44 64歳男	無職	東京	心臓病、高血圧、気管支炎、不眠症	平成2年6月	壮快を読んで	2ヵ月	心臓病、高血圧、気管支炎、不眠症	熟睡できる、背や腰の痛みが消失血圧も安定	有	体が熱くなった、体がふらふらになった	2〜3日	朝夕180mℓずつ
45 64歳女	主婦	長崎	狭心症、心臓肥大、高血圧、関節炎、口内炎	平成2年6月	壮快を読んで	2ヵ月	高血圧	胸の重苦しさが消えた	有	体に斑点ができ、全身がかゆくなった	無記入	毎朝200mℓ
46 75歳男	会社員	山口	高血圧	平成2年8月	無記入	4ヵ月	高血圧	最大200㎜、最小110㎜の血圧が最大150㎜、最小80㎜に下がった	無			毎朝約240mℓ
47 65歳女	主婦	静岡	便秘、高血圧、高血糖値	平成2年2月	夫に勧められて	1週間	便秘、高血圧、高血糖値	便秘が治った、血圧・血糖値が下がった	無			起床時180mℓ
48 65歳男	自営業	宮崎	高血圧、痛風	平成2年10月	壮快を読んで	1週間	高血圧、痛風	生活、仕事に支障がないまでに回復	無			毎朝150mℓ
49 72歳女	無職	愛知	心筋梗塞、高血圧、動脈硬化、関節炎	平成2年6月	無記入	飲んだその場で	心筋梗塞、高血圧、動脈硬化、関節炎	心電図、血液検査で異常なし、黒い髪が生えてきた、コブが消えた	有	体が重だるい	2ヵ月	コップ8分目を1日7〜8回
50 63歳男	無職	富山	高血圧、頭痛、糖尿病自律神経失調症	平成2年7月	無記入	4ヵ月	高血圧、頭痛、自律神経失調症	頭痛が軽くなってきた、血圧も少し下がった	有	頭痛、体のかゆみ、めまい、ふらつき	無記入	毎朝180mℓ
51 75歳男	無職	岩手	高血圧、変形性膝関節症、不整脈	平成1年2月	壮快を読んで	5ヵ月	変形性膝関節症、高血圧	ひざの痛みが軽くなった、血圧が下がった	有	カゼのような症状	無記入	朝昼晩150〜200mℓずつ
52 77歳男	無職	福井	高血圧、糖尿病、動悸	平成2年4月	週刊ポストを読んで	1年	高血圧、糖尿病、夜間頻尿、動悸	血圧、血糖値が下がった、夜間頻尿、口の渇きが治った、動悸が消えた	無記入	無記入	無記入	夜中に50mℓ
53 67歳男	パート	静岡	高血圧、変形性膝関節症、前立腺肥大	平成2年5月	壮快を読んで	2ヵ月	高血圧、変形性膝関節症、動悸、頻尿	血圧が下がった、ひざの痛みが軽くなった、頻尿が治った、肩痛が消えた	無			毎朝コップ1杯
54 70歳女	主婦	高知	高血圧、変形性膝関節症、皮下出血	平成1年9月	壮快を読んで	3日	高血圧、変形性膝関節症、皮下出血	血圧が正常値になって安定した、ひざの痛みが軽くなった、皮下出血が消えた	有	一時的に、皮下出血の部分が広くなった	無記入	毎朝180mℓ
55 54歳男	会社員	福島	のどの腫れ、高血圧、水虫、白髪	平成2年1月	壮快を読んで	1日	のどの腫れ、高血圧、水虫、白髪	のどの腫れが小さくなった、血圧が下がった、水虫が治った、髪が黒くなった	有	歯茎の腫れ、体がかゆくなった、頭痛	無記入	朝、午前中、午後各400〜500mℓ
56 65歳男	無職	千葉	高血圧、飛蚊症、ポリープ	平成2年7月	壮快を読んで	3ヵ月	高血圧、飛蚊症、ポリープ	血圧が正常値に下がった、腹部の重だるさが消えた、飛蚊症が改善した	無記入	無記入	無記入	毎朝夕180mℓずつ
57 65歳男	無職	神奈川	高血圧、心臓病、痔、蓄膿症	平成2年5月	壮快を読んで	2ヵ月	高血圧、心臓病、痔、蓄膿症	血圧が下がった、息切れしなくなった、便秘、痔、蓄膿症が軽快	有	体のふらつき	無記入	毎朝3時ごろ180mℓ
58 53歳男	農業	鹿児島	高血圧、慢性肝炎	平成2年11月	人に勧められて	肝機能値の向上は1週間、高血圧は1ヵ月	高血圧、慢性肝炎、食欲不振	血圧が正常値になった、肝機能値が下がった、食欲が出た	有	血圧と肝機能値が異常に上昇	7〜30日	1回180mℓを1日に3〜5回
59 50歳女	製造業	岐阜	脳出血、腎臓腫瘍、卵巣膿腫	平成2年10月	無記入	1ヵ月	高血圧、頭痛	血圧が正常値になった、頭痛が消えた、カゼをひかなくなった	有	体の痛み・だるさ・かゆみ	無記入	毎朝150〜180mℓ
60 51歳男	地方公務員	青森	脳血栓	平成2年9月	無記入	10日	めまい、脱力感、高血圧、頻脈	徐々にめまい、脱力感がなくなり、血圧も正常値になった、脈も正常化	有	めまい、頭痛が現れた	1ヵ月に1回	毎朝300mℓ、毎晩150〜200mℓ
61 62歳男	警備員	神奈川	脳卒中、高血圧	平成2年5月	壮快を読んで	65日	立ちくらみ、歩行困難、腹の張り、目やに、高血圧	立ちくらみが解消、杖なしで歩ける、血圧が安定、腹の張りが消失目やにが解消	無			毎朝一番に出た尿を全量飲む

＊高血圧

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
62 74歳女	無職	福島	脳卒中	平成2年9月	友人に勧められて	7ヵ月	脳卒中の後遺症、高血圧	首すじや肩こりがなくなりひざや腰が楽に曲がるようになった、血圧が下がった	無			毎日100mℓずつ3回
63 63歳女	主婦	北海道	高血圧、不眠症、便秘自律神経失調症、胃弱	平成2年10月	尿療法のビデオを見て	その日	高血圧、不眠症、胃弱、便秘、シミ	血圧が安定、胃腸が良好、不眠が解消、シミが消えた	有	脈の早打ち	1ヵ月	毎朝200mℓ
64 69歳男	建材業	岐阜	足の痛み、肩の痛み、痔、高血圧	昭和63年7月	宮松著の本を読んで	いつのまにか	足の痛み、肩の痛み、痔、高血圧	足も肩も痛まなくなった、高血圧が改善、痔が痛まなくなった	無			毎日180mℓ
65 69歳女	主婦	愛知	クモ膜下出血	平成2年8月	人に勧められて	無記入	高血圧、ひざ痛	血圧が下がり、ひざに水がたまりにくくなり歩けるようになった	有	全身がかゆくなる	4〜5日	毎日180mℓを3回
66 66歳男	飲食業	東京	胃潰瘍、腸閉塞、心臓機能障害	昭和63年10月	壮快を読んで	4〜5日	高血圧、口·舌の荒れ、疲労、カゼ	高血圧が正常値になった、カゼ知らずになった、口や舌の荒れが治った	無			トイレにいくたびに200mℓずつ

＊肌の症状

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
67 72歳男	会社員	鹿児島	高血圧、リウマチ、慢性腎炎、座骨神経痛	平成2年5月	テレビで見て	20日	座骨神経痛、皮膚のマヒ、老人斑、むくみ、高血圧	足の痛みが消えた、老人斑が目だたなくなった、むくみが取れた	無			毎朝200mℓ
68 54歳男	病院勤務	富山	肝硬変、手のしびれ·ふるえ	平成2年7月	奇跡が起こる尿療法を読んで	3週間	手のふるえ·指のこわばり、肝硬変、ニキビ	手と指のふるえ・こわばりが消えた、肝機能値がほぼ正常化、ニキビが取れた	有	骨折·ねんざなど過去に障害した部分が痛む	無記入	毎日800〜1000mℓを数回に分けて
69 76歳男	自由業	大阪	黄斑変成症（黒内障の一種）	平成2年7月	壮快を読んで	2ヵ月	肌、関節痛	肌が滑らかになり手の関節痛が消えた、関節が柔らかくなった	無			毎朝180mℓ
70 52歳女	自由業	神奈川	無	昭和59年11月	無記入	2日	朝の目覚め、睡眠、手足の荒れ	睡眠がよく取れるようになり、朝の目覚めがよい、手足の荒れが治った	有	腕をくじいた後が痛む	無記入	毎朝·毎夕200mℓずつ
71 63歳女	主婦	北海道	高血圧、不眠症、便秘、自律神経失調症胃弱	平成2年10月	尿療法のビデオを見て	その日	高血圧、不眠症、胃弱、便秘、シミ	血圧が安定、胃腸が良好、不眠が解消、シミが消えた	有	脈の早打ち	1ヵ月	毎朝200mℓ
72 74歳女	無職	徳島	高血圧、高コレステロール血症	平成2年10月	壮快を読んで	翌日	夜間尿、肌	夜間尿が全くなくなり、寝つきがよくなった、肌がつるつるした、シミが消えた	無			毎朝180mℓ
73 67歳男	無職	新潟	痔	平成2年4月	壮快を読んで	2ヵ月	花粉症、肌つや	花粉症の鼻づまりなどの発作が起きなくなった、肌につやが出た	無			毎日200mℓずつ2回
74 60歳女	飲食業	東京	胆石症	平成2年9月	壮快を読んで	1ヵ月	肩こり、めまい、下半身のだるさ、イボ、シミ	肩こり・めまい・だるさがとれた、白髪が黒くなった、首のイボ・手のシミがとれた	無			毎朝・昼・晩100mℓずつ
75 69歳男	青果業	高知	しっしん、後頭部の鈍痛、肩こり	平成2年9月	壮快を読んで	2〜3日	しっしん、後頭部の鈍痛、肩こり	歯茎の痛み、後頭部の痛みが消えた、しっしん、肩こりが治った	有	体の激しいかゆみ	4〜5日	朝一番の尿を180mℓ
76 78歳男	無職	長崎	しっしん	平成2年8月	壮快を読んで	6ヵ月	手の指とお尻にしっしん	しっしんは消えたがかゆみは少しある	有	みずおちや頭が痛む	無記入	毎朝100mℓ
77 34歳女	主婦	静岡	子宮びらん、過敏性大腸炎、しっしん	平成2年6月	テレビを見て	2週間	下痢、不正出血、しっしん、低血圧	不正出血・しっしんがなくなり、朝の目覚めがよくなった、下痢が消失	有	目にものもらいのようなものができた	無記入	毎朝200mℓ

＊アレルギー

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
78 59歳女	主婦	石川	アレルギー性気管支炎	平成2年8月	無記入	6ヵ月	アレルギー性気管支炎	のどのゼーゼー、ヒューヒューが取れた	無			毎朝100〜200mℓ
79 52歳女	主婦	広島	更年期障害、不眠、膀胱炎、目のアレルギー	平成2年9月	無記入	1週間	更年期障害、目のアレルギー、膀胱炎、不眠症	つめが硬くなった、膀胱炎が完治、目のアレルギー、不眠、更年期障害が完治	有	下痢、中耳炎の再発	1ヵ月	毎朝180mℓ、そのほか目と鼻に差す
80 67歳男	無職	鳥取	心不全、頭部潰瘍、腰痛、足の関節痛	平成2年2月	壮快を読んで	9ヵ月	ぜんそく、腰痛、めまい、精力増強	よく眠れる、便通が改善、ぜんそく・腰痛が完治、頭痛・めまいが解消	有	吐き気、頭重、むかつき	無記入	毎朝200mℓ

＊アレルギー

年齢 性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
81 59歳女	事務員	栃木	手のしびれ、ぜんそく、腰痛	平成2年11月	壮快を読んで	1ヵ月	花粉症、水虫	カゼ知らずになった、花粉症、水虫が治った	有	下痢	3日間	毎朝200mℓ
82 53歳女	主婦	福岡	アレルギー性鼻炎、便秘、胃痛、乳房の痛み	平成2年9月	壮快を読んで	28日	アレルギー性鼻炎、乳房の痛み	鼻づまりなどの症状が消えた、乳房の痛みも消失	有	しっしん、首の付け根の痛み	2〜3日	毎日200mℓを1〜3回
83 69歳男	自営業	東京	脳卒中の後遺症、結核、ぜんそく	平成2年3月	壮快を読んで	無記入	白髪、ぜんそく	毛が黒く濃くなった、顔に精気が甦った、ぜんそく発作がへった	無			無記入
84 67歳男	無職	新潟	痔	平成2年4月	壮快を読んで	2ヵ月	花粉症、肌つや	花粉症の鼻づまりなどの発作が起きなくなった、肌につやが出た	無			毎日200mℓずつ2回
85 44歳女	飲食業	岡山	腰痛、冷え症、アレルギー性鼻炎、胃炎	平成2年5月	テレビ、週刊誌読んで	2ヵ月	更年期障害、アレルギー性鼻炎、腰痛、胃炎	更年期障害が軽快、アレルギー性鼻炎が改善、腰痛が少し軽快、胃炎が解消	有	下痢、口内炎	無記入	毎朝夕200mℓずつ

＊尿の出の異常

年齢 性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
86 88歳男	無職	宮崎	前立腺肥大	平成2年10月	奇跡が起こる尿療法	3ヵ月	前立腺肥大	頻尿が治った、尿の出がよくなった	無記入	無記入	無記入	無記入
87 68歳女	主婦	愛知	便秘、膀胱炎、心臓病	平成1年11月	友人から聞いた	3ヵ月	便秘、膀胱炎、心臓病	便通がよくなった、膀胱炎が起きない、心臓の発作が起きない	有	肩こり、頭痛	3ヵ月	毎朝200mℓ
88 69歳男	無職	北海道	慢性腸カタル、糖尿病	平成2年2月	壮快を読んで	2週間	慢性腸カタル、糖尿病	大腸の痛みが消えた、口の渇きが消えた、夜間頻尿も治った	無			毎朝180mℓ
89 77歳男	無職	福井	高血圧、糖尿病、動悸	平成2年4月	週刊ポストを読んで	1年	高血圧、糖尿病、夜間頻尿、動悸	血圧、血糖値が下がった、夜間頻尿、口の渇きが治った、動悸が消えた	無記入	無記入	無記入	夜中に50mℓ
90 67歳男	パート	静岡	高血圧、変形性膝関節炎、前立腺肥大	平成2年5月	壮快を読んで	2ヵ月	高血圧、変形性膝関節炎、動悸、頻尿	血圧が下がった、ひざの痛みが軽くなった、頻尿が治った、肩痛が消えた	無			毎朝コップ1杯
91 45歳男	農業	青森	全身のだるさ、血尿	平成2年10月	壮快を読んで	3ヵ月	全身のだるさ、血尿	血尿が止まった、35kgに落ちた体重が53kgまで回復、元気が出てきた	無記入	無記入	無記入	毎朝400mℓ、昼夜各200mℓ
92 52歳女	主婦	広島	更年期障害、不眠、膀胱炎、目のアレルギー	平成2年9月	無記入	1週間	更年期障害、目のアレルギー、膀胱炎、不眠症	つめが硬くなった、膀胱炎が完治した、目のアレルギー、不眠、更年期障害が完治した	有	下痢、中耳炎の再発	1ヵ月	毎朝180mℓ、そのほか目と鼻に差す
93 66歳男	無職	熊本	皮膚病、高血圧、便秘	平成2年4月	無記入	1ヵ月	夜間尿、便秘	便秘が改善、夜間尿が完治	無			毎朝150mℓ
94 73歳男	自営業	広島	前立腺肥大、便秘	平成2年7月	テレビを見て	1ヵ月	前立腺の痛み、便秘、尿の出	前立腺の痛みが取れ、尿の出がよくなった、便秘が治った	無			夜中200mℓ毎日
95 53歳女	会社員	宮崎	夜間尿、水虫	平成2年6月	壮快を読んで	3日	夜間尿、水虫、胃弱	夜間に起きなくなり疲れなくなった、水虫は1日で治った、胃腸も丈夫になった	無			毎朝200mℓ
96 32歳女	主婦	愛知	肝機能値が高い、腎臓肥大	平成3年1月	無記入	2日	歯茎からの出血、尿の出の異常	歯茎からの出血が止まった、尿の出がよくなった	無			毎朝200mℓ
97 74歳女	無職	徳島	高血圧、高コレステロール血症	平成2年10月	壮快を読んで	翌日	夜間尿、肌	夜間尿が全くなくなり、寝つきがよくなった、肌がつるつるした、シミが消えた	無			毎朝180mℓ
98 65歳男	会社役員	広島	糖尿病、膀胱障害	平成2年7月	壮快を読んで	3日	血糖値、膀胱の痛み、疲労	元気が出た、疲れない、膀胱の痛みがなくなった、血糖値が向上	無			毎朝毎晩200mℓずつ

＊胃の不調

年齢 性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
99 58歳男	医師	東京	胃潰瘍、慢性胃炎、歯周炎	平成2年8月	壮快を読んで	6ヵ月	胃潰瘍、慢性胃炎、歯周炎	歯茎がピンク色になった、胃粘膜のただれが治った	無			朝昼晩各200mℓ
100 69歳女	無職	東京	リウマチ、動脈硬化、不眠症、うつ病、胃弱	平成2年7月	壮快とテレビ	4日間	リウマチ、胃弱	リウマチの肩と首すじの痛み、胃の復調	有	下痢、しっしん	20日	1日200mℓ

年齢 性別	職業	都道 府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生 時期	治したかった症状
101 42歳女	農業	長野	慢性胃炎、胃ポリープ、子宮筋腫、糖尿病	平成２年 ３月	無記入	3～4ヵ月	血糖値をコントロール、胃痛、月経過多
102 80歳男	販売業	京都	胃潰瘍、座骨神経痛、五十肩	平成２年 11月	家族に教わった	３日	胃潰瘍、足が痛くて歩けない、五十肩
103 69歳男	卸売り業	秋田	胃潰瘍、痔、イボ、口臭	平成２年 ６月	無記入	２日	胃の痛み、痔の出血、イボが取れない
104 49歳女	無職	富山	胃潰瘍、膵臓炎	平成２年 ９月	夫に勧められ	2～3週間	胃と膵臓の痛み、耳鳴り、肩こり、低血圧
105 63歳女	主婦	北海道	高血圧、不眠症、便秘、自律神経失調症、胃弱	平成２年 10月	尿療法のビデオを見て	その日	高血圧、不眠症、胃弱、便秘、シミ
106 54歳男	施術師	東京	不整脈、冷え症、歯槽膿漏、水虫、腰痛	平成２年 ６月	壮快を読んで	３ヵ月	不整脈、カゼ、胃弱、気管支炎、口内炎、わきが
107 65歳女	主婦	広島	慢性肝炎、胃炎	平成２年 ４月	妹に勧められ	１週間	歯茎の出血、胃もたれ
108 70歳男	無職	兵庫	慢性胃炎、便秘、肩こり、不眠、食欲不振	平成２年 10月	壮快を読んで	１ヵ月	食欲、便秘、体のだるさ、不眠、肩こり
109 80歳男	無職	静岡	精力減退	平成１年 ２月	壮快を読、で	無記入	精力減退、血色、便通、胃弱
110 44歳女	飲食業	岡山	腰痛、冷え症、アレルギー性鼻炎、胃炎	平成２年 ５月	テレビ週刊誌を読んで	２ヵ月	更年期障害、アレルギー性鼻炎、腰痛、胃炎

111 66歳男	無職	三重	肝機能低下、不整脈、腹水	平成２年 ８月	知人の紹介	約３ヵ月	肝機能の低下、不整脈、腹水
112 41歳男	会社員	長崎	便秘、腰痛、肩こり	平成２年 11月	壮快を読んで	４ヵ月	便秘、鼻炎
113 65歳女	主婦	静岡	便秘、高血圧、高血糖値	平成２年 ２月	夫に勧められ	１週間	便秘、高血圧、高血糖値
114 49歳女	主婦	神奈川	子宮筋腫、便秘、わきばらの痛み	平成１年 11月	親戚の勧めで	６ヵ月	子宮筋腫、わきばらの痛み、便秘、カゼ
115 69歳男	無職	北海道	慢性腸カタル、糖尿病	平成２年 ２月	壮快を読んで	２週間	慢性腸カタル、糖尿病
116 68歳女	主婦	愛知	心臓病、便秘、肩こり	平成１年 10月	知人に聞いて	５日	便秘、肩こり
117 47歳女	主婦	大阪	貧血、白髪、ひざ痛、頭痛、胃弱	昭和63年 ６月	壮快を読んで	１週間	便秘、ひざ痛
118 77歳男	無職	埼玉	下腹部の痛み	平成２年 10月	壮快を読んで	４週間	下腹部の痛み
119 41歳男	自家営業	岩手	高血圧、便秘、しびれ、頭重感	平成２年 ３月	壮快を読んで	10日	便秘、疲れ
120 60歳男	団体役員	三重	便秘、慢性虫垂炎	平成２年 ９月	書籍を読んで	便秘は10日、慢性虫垂炎は４ヵ月	便秘、慢性虫垂炎の痛み

＊胃の不調

現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
血糖値が下がった、胃痛が消えた、月経の出血量が少なくなった	無			毎朝180mℓ
胃も足も肩も痛みがすっかり消えた、顔色がよくなった	有	下痢、体がだるい、吹き出物	３日	毎日150mℓを３回
胃のいたみが取れた、痔が完治、イボが縮小	有	腕がピリピリする、血圧上昇	いつのまにか	毎朝150mℓ
胃と膵臓の痛みが消えた、耳鳴り、肩こりが消えた、低血圧が正常化	無			毎朝200mℓ
血圧が安定、胃腸が良好、不眠が解消、シミが消えた	有	脈の早打ち	１ヵ月	毎朝200mℓ
不整脈がよくなった、胃腸が丈夫になった、タンが切れた、わきがも治った	有	汗の臭いが強くなった	無記入	毎朝200mℓ
歯茎の出血が止まった、胃腸が快調、顔色がよくなった、肝機能値が向上	有	肝機能値が上下、胸が痛くなった	１ヵ月	毎日100mℓずつ５回程度
食欲が出た、便通がついた、体のだるさが消えた、不眠が解消、肩こりが解消	有	体のだるさと下痢	１ヵ月	毎朝200mℓ
精力がわき、勃起力が回復、体全体の血色がよくなった、胃腸が丈夫になった	無			毎朝夕180mℓずつ
更年期障害が軽快、アレルギー性鼻炎が改善、腰痛が少し軽快、胃炎が解消	有	下痢、口内炎	無記入	毎朝夕200mℓずつ

＊腸の不調

発熱、食欲減退、不眠、不整脈が消失	有	下痢	無記入	朝一番の尿を全部
髪がふえた、便秘が治った、鼻炎が軽くなった	有	歯が痛くなった	無記入	毎朝250mℓ
便秘が治った、血圧・血糖値が下がった	無			起床時180mℓ
子宮筋腫の痛みが軽くなった、わきばらの痛みが軽くなった、便通がよくなった	有	下痢、顔のしっしん	無記入	朝一番の尿をコップ１杯
大腸の痛みが消えた、口の渇きが消えた、夜間頻尿も治った	無			毎朝180mℓ
便秘が治り、肩こりも軽くなってきた	無記入	無記入	無記入	毎朝コップ１杯
便秘が治った、ひざ痛が消えた	無			毎朝200mℓ
下腹部の痛みが全く起きなくなった	有	全身に赤い小さなブツブツができた	２日	毎朝コップ１杯
便秘が治った、疲れなくなった	有	下痢	無記入	毎朝コップ１杯
便通が95%改善、慢性虫垂炎の痛みが消えた	有	手の荒れ、目ヤニ、筋肉のケイレン	3～5日	毎朝200mℓ

*腸の不調

年齢 性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
121 62歳男	無職	栃木	糖尿病、便秘	平成2年5月	壮快を読んで	便秘は2ヵ月 白髪は3ヵ月	腸が弱く排便が困難、手足の感覚マヒ	座薬なしで排便できるようになった、黒い髪の毛が生えてきた	無			毎朝100～200mℓずつ
122 72歳女	農業	高知	便秘	平成2年9月	壮快を読んで	その日から	便秘	毎日便通があり、白髪がなくなった	無			毎朝200mℓ
123 75歳男	ホテル業	北海道	膵炎、上顎腫瘍	平成3年2月	壮快を読んで	3～4日	便秘、あごの腫瘍、カゼ	便秘が治った、体が軽くなった、あごの腫瘍が完治、カゼ知らずになった	有	胃部の圧迫感、倦怠感	4～5日	毎朝200mℓ
124 66歳男	無職	熊本	皮膚病、高血圧、便秘	平成2年4月	無記入	1ヵ月	夜間尿、便秘	便秘が改善、夜間尿が完治	無			毎朝150mℓ
125 42歳男	自営業	広島	リウマチ、十二指腸潰瘍、低血圧	平成2年8月	無記入	3ヵ月	リウマチの痛みで歩けない、十二指腸が痛む	リウマチの痛みがなくなった、血色がよくなった、十二指腸潰瘍が痛まなくなった	無			無記入
126 58歳男	農業	島根	リウマチ、耳鳴り、腰痛	平成2年6月	壮快を読んで	2ヵ月	リウマチ、便秘、減量	便通が正常になり、13kgの減量に成功、リウマチの痛みが全く消失	有	下痢	2日	毎朝・毎晩200mℓずつ
127 69歳男	アルバイト	兵庫	十二指腸潰瘍、すねの痛み	昭和61年6月	宮松著 藤井著 尿の本	6ヵ月	便秘、すねの痛み、飛蚊症	便通が良くなりすねの痛みが消えた、飛蚊症が治った	無			朝と昼に150mℓずつ
128 63歳男	無職	宮崎	心臓病、胃炎、腸ポリープ、白内障、脊柱異常	平成3年3月	壮快を読んで	無記入	便秘、カゼ	体が軽くなった、カゼをひきにくくなった、便通がよくなった、動悸が減少	無			毎朝180mℓ
129 51歳女	自営業	神奈川	便秘	平成2年6月	ラジオ テレビ 本	無記入	便秘	便通がよくなった、肌につやが出た、疲れ知らずになった	無			毎朝200mℓ
130 57歳女	農業	徳島	首・腰・ひざの痛み	平成2年10月	壮快を読んで	1ヵ月	便秘	便通がよくなり、肌が若返った、つめが硬くなった、髪の伸びが早くなった	無			毎朝200mℓ
131 68歳女	主婦	長崎	胆石症、花粉症、背中の痛み	平成2年7月	宮松著の本を読んで	翌日	便秘、くしゃみ、鼻水、背中の痛み、のどの痛み、安眠	便秘が治り、背中の痛みが消えた、カゼ知らずになった、肌が美しくなった	無			毎朝180mℓ
132 66歳男	無職	愛媛	無	平成2年9月	壮快を読んで	6ヵ月	排便、カゼ	排便が楽になった、カゼ知らずになった	無			毎朝200mℓ
133 70歳男	無職	兵庫	慢性胃炎、便秘、肩こり、不眠、食欲不振	平成2年10月	壮快を読んで	1ヵ月	食欲、便秘、体のだるさ、不眠、肩こり	食欲が出た、便通がついた、体のだるさが消えた、不眠が解消、肩こりが解消	有	体のだるさと下痢	1ヵ月	毎朝200mℓ
134 69歳女	主婦	鹿児島	涙目、首すじの痛み	平成2年5月	壮快を読んで	6ヵ月	タン、便秘、肩こり、涙目、首すじの痛み	タンが切れ、涙目・首すじの痛み・肩こり・便秘が解消	無			毎朝180mℓ
135 75歳男	無職	東京	発疹、便秘	平成3年1月	人に勧められ	3日間	発疹、便秘、疲労	発疹はかゆみを感じなくなった、便秘が軽減、疲労感がない、声がよく出る	有	発疹がかゆくなった	数日	毎朝夕200mℓずつ

*目の病気

年齢 性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
136 65歳男	無職	千葉	高血圧、飛蚊症、ポリープ	平成2年7月	壮快を読んで	3ヵ月	高血圧、飛蚊症、ポリープ	血圧が正常値に下がった、腹部の重だるさが消えた、飛蚊症が改善した	無記入	無記入	無記入	毎朝夕180mℓずつ
137 67歳女	無職	神奈川	不整脈、目の疲れ	平成2年12月	壮快を読んで	1ヵ月	不整脈、目の疲れ	不整脈が改善した、尿の点眼で目がよく見えるようになった	有	タンがたまるようになった	無記入	毎朝200mℓ
138 71歳男	木工業	岩手	便秘、手のしびれ、めまい、失神、貧血	平成1年6月	壮快を読んで	2ヵ月	便通、手のしびれ、めまい 失神、視力	すべてよくなり眼鏡無しで新聞が読めるようになった	有	体がだるくなった	1ヵ月	毎朝200mℓずつ
139 52歳女	主婦	広島	更年期障害、不眠、膀胱炎、目のアレルギー	平成2年9月	無記入	1週間	更年期障害、目のアレルギー、膀胱炎、不眠症	つめが硬くなった、膀胱炎が完治した、目のアレルギー、不眠、更年期障害が完治した	有	下痢、中耳炎の再発	1ヵ月	毎朝180mℓ、そのほか目と鼻に差す
140 70歳女	農業	新潟	目のかすみ	平成1年11月	壮快を読んで	3～4ヵ月	目がかすんで雑誌が読めない	週刊誌がさらさら読めるようになった	無			毎朝100mℓ

＊目の病気

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
141 69歳男	アルバイト	兵庫	十二指腸潰瘍、すねの痛み	昭和61年6月	宮松著 藤井著 尿の本	6ヵ月	便秘、すねの痛み、飛蚊症	便通がよくなり、すねの痛みが消えた、飛蚊症が治った	無			朝と昼に150mℓずつ
142 62歳女	自営業	北海道	ひざ痛	平成2年6月	テレビを見て	1週間	ひざ痛、疲れ目、カゼ、白髪、シミ	ひざが楽になり、疲れ目も治り、カゼもひかなくなった、白髪が黒くなりシミ消失	有	ひざと腕が痛んだ	4日	毎朝150mℓ
143 62歳男	警備員	神奈川	脳卒中、高血圧	平成2年5月	壮快を読んで	65日	立ちくらみ、歩行困難、腹の張り、目やに、高血圧	立ちくらみが解消、杖なしで歩ける、血圧が安定、腹の張りが消失、目やにが解消	無			毎朝一番に出た尿を全量飲む
144 67歳男	会社員	岡山	肝障害、飛蚊症、難聴、下腹部の痛み、静脈瘤	平成2年10月	壮快を読んで	3ヵ月	飛蚊症、ウオノメ、手の脂肪瘤、首のるいれき	飛蚊症が改善、ウオノメがよくなった、脂肪の塊が縮小、首のグリグリが消失	無			毎日2回
145 73歳女	無職	京都	痛風、白髪、白内障	平成2年3月	壮快を読んで	3日	痛風、白髪、白内障、カゼ	痛風の足指の痛みが消えた、白髪がへった、白内障も改善、カゼ知らずになった	有	体がかゆくなった	1ヵ月	毎朝80～100mℓ
146 65歳女	用務員	滋賀	糖尿病	平成3年1月	壮快を読んで	3ヵ月	肩の痛み、白内障	肩の痛みが消えた、目がよく見えるようになった	有	下痢	無記入	毎朝200mℓ
147 69歳女	主婦	鹿児島	涙目、首すじの痛み	平成2年5月	壮快を読んで	6ヵ月	タン、便秘、肩こり、涙目、首すじの痛み	タンが切れ、涙目・首すじの痛み・肩こり・便秘が解消	無			毎朝180mℓ

＊白髪

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
148 54歳男	会社員	福島	のどの腫れ、高血圧、水虫、白髪	平成2年11月	壮快を読んで	1日	のどの腫れ、高血圧、水虫、白髪	のどの腫れが小さくなった、血圧が下がった、水虫が治った、髪が黒くなった	有	歯茎の腫れ、体がかゆくなった、頭痛	無記入	朝、午前中、午後各400～500mℓ
149 50歳女	事務員	鹿児島	便秘	平成2年9月	無記入	3ヵ月	便秘、性交障害、白髪	足が軽くなった、白髪がへった、性交回数が増えた	有	下痢	2ヵ月	毎朝200mℓ
150 66歳女	無職	高知	蓄膿症、胆嚢炎	平成2年8月	壮快を読んで	1ヵ月	イボ、疲労、白髪	髪が黒くなった、疲れなくなった、イボがへった	無			毎朝180mℓ
151 41歳男	治療師	東京	無し	昭和63年1月	書籍を数冊読んで	1年	カゼ、白髪	カゼ知らずになった、白髪が少しへった	有	肩こり、腕の痛み	6ヶ月	毎日200mℓずつ2～4回
152 32歳男	会社員	三重	高血圧、慢性腎炎、アレルギー性鼻炎	平成2年5月	壮快を読んで	1ヵ月	肩こり、白髪	肩がこらなくなり顔色がよくなった、髪が黒くなりふえた、体重減少	無			毎日180mℓを2～3回
153 48歳女	無職	山口	卵管ガン、ガン性腹膜炎、胆石、膵炎	平成2年11月	奇跡が起こる尿療法	2ヵ月	白髪	体調がよくなり白髪がへった	有	体のかゆみ	無記入	毎朝150～180mℓ
154 62歳女	自営業	北海道	ひざ痛	平成2年6月	テレビを見て	1週間	ひざ痛、疲れ目、カゼ、白髪、シミ	ひざが楽になり、疲れ目も治り、カゼもひかなくなった、白髪が黒くなりシミ消失	有	ひざと腕が痛んだ	4日	毎朝150mℓ
155 73歳女	無職	京都	痛風、白髪、白内障	平成2年3月	壮快を読んで	3日	痛風、白髪、白内障、カゼ	痛風の足指の痛みが消えた、白髪がへった、白内障も改善、カゼ知らずになった	有	体がかゆくなった	1ヵ月	毎朝80～100mℓ
156 69歳男	自営業	東京	脳卒中の後遺症、結核、ぜんそく	平成2年3月	壮快を読んで	無記入	白髪、ぜんそく	毛が黒く濃くなった、顔に精気が甦った、ぜんそく発作がへった	無		無記入	無記入

＊リウマチ

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
157 49歳男	会社員	岩手	リウマチ、胃腸病、肝臓病	平成2年1月	週刊現代を読んで	2週間	リウマチ、胃腸病	リウマチの痛みがなくなった、気分が爽快になった	有	リウマチの痛みが激しくなった	無記入	コップ1杯
158 65歳女	無職	長崎	リウマチ、肺腫瘍、やけど	平成2年1月	友人に勧められた	1ヵ月半	リウマチ	痛みが軽くなった	無記入	無記入	無記入	無記入
159 51歳女	寿司店員	岐阜	リウマチ、動悸、頭痛	平成2年10月	壮快を読んで	3ヵ月	リウマチ、動悸、頭痛	動悸が消えた、頭痛が消えた、尿の出がよくなった	無記入	無記入	無記入	無記入

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状
160 79歳女	無職	東京	リウマチ、冷え症	平成2年10月	無記入	2日	リウマチ
161 66歳女	自営業	東京	リウマチ	平成2年6月	壮快を読んで	2ヵ月	リウマチ
162 56歳女	主婦	北海道	ひざ痛、リウマチ	平成2年5月	知人に聞いて	3ヵ月	リウマチ、ひざ痛
163 61歳女	マッサージ	香川	リウマチ	平成1年10月	無記入	2週間	リウマチ
164 69歳女	無職	東京	リウマチ、動脈硬化、不眠症、うつ病、胃弱	平成2年7月	壮快とテレビ	4日目	リウマチ、胃弱
165 66歳男	会社員	大阪	リウマチ、痛風	平成2年7月	尿療法読んで	7〜10日	リウマチ
166 51歳女	無職	宮城	リウマチ、ひざ痛、肩痛	平成2年8月	壮快を読んで	3ヵ月	リウマチ
167 42歳男	自営業	広島	リウマチ、十二指腸潰瘍、低血圧	平成2年8月	無記入	3ヵ月	リウマチの痛みで歩けない、十二指腸が痛む
168 58歳男	農業	島根	リウマチ、耳鳴り、腰痛	平成2年6月	壮快を読んで	2ヵ月	リウマチ、便秘、減量

169 71歳男	自由業	大阪	座骨神経痛	平成2年5月	週刊現代を読んで	1ヵ月	座骨神経痛
170 73歳男	自営業	東京	足の冷え、座骨神経痛	平成2年3月	壮快を読んで	足の冷えは40日、座骨神経痛は7ヵ月	足の冷え、座骨神経痛
171 73歳男	無職	愛知	神経痛	平成2年11月	壮快を読んで	2ヵ月	神経痛
172 57歳女	主婦	熊本	甲状腺肥大、神経痛、慢性中耳炎	平成2年11月	壮快を読んで	1週間	甲状腺肥大、神経痛、慢性中耳炎
173 65歳女	無職	愛知	座骨神経痛	平成2年10月	壮快を読んで	1ヵ月	座骨神経痛
174 69歳男	無職	熊本	動悸、肩こり、神経痛、前立腺肥大、頻尿	平成3年2月	壮快を読んで	1週間	動悸、肩こり、神経痛
175 72歳男	会社員	鹿児島	高血圧、リウマチ、慢性腎炎、座骨神経痛	平成2年5月	テレビで見て	20日	座骨神経痛、皮膚のマヒ、老人斑、むくみ、高血圧

176 74歳男	無職	滋賀	脳卒中の後遺症、糖尿病	平成2年4月	週刊現代を読んで	便秘は1ヵ月、足腰の痛みは6ヵ月	便秘、足腰の痛み、糖尿病
177 75歳女	着付	千葉	腰痛	平成2年3月	壮快を読んで	6日	腰痛
178 64歳男	無職	岡山	糖尿病、腰痛、歯槽膿漏	平成2年5月	テレビで見て	腰痛4日、歯槽膿漏1ヵ月 糖尿病3ヵ月	糖尿病、腰痛、歯槽膿漏
179 64歳男	無職	岩手	腰痛、カゼ	平成2年6月	壮快を読んで	4ヵ月	カゼ、腰痛
180 67歳男	無職	鳥取	心不全、頭部潰瘍、腰痛、足の関節痛	平成2年2月	壮快を読んで	9ヵ月	ぜんそく、腰痛、めまい、精力増強

＊リウマチ

現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
痛みが軽くなってきた、黒髪が生えてきた、血色がよくなった	有	一時的に左足のつけ根が痛くなった	無記入	1日2回150mℓずつ
痛みがなくなり、階段の上り下りも平気になった、疲れなくなった	有	痛くなかったほうのひざが痛みだした	1ヵ月	毎朝コップ1杯
痛みが薄れ、正座ができるようになった	有	体がだるくなった	無記入	毎朝コップ1杯
指の腫れと痛みがなくなった	無記入	無記入	無記入	無記入
リウマチの肩と首すじの痛み、胃の復調	有	下痢、しっしん	20日	1日200mℓ
腫れと痛みがなくなった	無			毎朝200mℓ
ひざに水がたまらなくなった、肩や腕の痛みが減少	無			毎日250mℓを2回に分けて
リウマチの痛みがなくなった、血色がよくなった、十二指腸潰瘍が痛まなくなった	無			無記入
便通が正常になり、13kgの減量に成功、リウマチの痛みが全く消失	有	下痢	2日	毎朝・毎晩200mℓずつ

＊神経痛

痛みが軽くなった	有	下痢	20日	朝200mℓ
靴下を脱いでも寝られるようになった、腰の痛みが消えた	有	体の節々が痛くなった	1日	朝一番の尿を200mℓ
痛みが消えた	無			毎朝150mℓ
体が疲れなくなった、耳だれが少なくなった、甲状腺の腫れが小さくなった	無			毎朝コップ1杯
痛みがなくなった	無			毎朝コップ7分目
動悸がしなくなり肩こり、腕の神経痛が消えた	有	下痢、めまい	無記入	朝夕200mℓずつ
足の痛みが消えた、老人斑が目だたなくなった、むくみが取れた	無			毎朝200mℓ

＊腰痛

便秘が治り、足腰の痛みが消え、血糖値が下がった	有	全身のかゆみ	2ヵ月	朝夕2回180mℓずつ
腰痛が治った、黒髪が生えてきた	有	体がかゆくなった	1週間	朝晩コップ1杯ずつ
血糖値が正常になった、普通に歩けるようになった、歯茎の出血が止まった	無			毎朝270mℓ
腰痛が消えた、カゼをひかなくなった、顔色がよくなった	無			毎朝90〜100mℓ
よく眠れる、便通が改善、ぜんそく・腰痛が完治、頭痛・めまいが解消	有	吐き気、頭重、むかつき	無記入	毎朝200mℓ

＊腰痛

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
181 73歳男	書家	滋賀	前立腺肥大、腰痛、ひざ痛	平成2年2月	壮快を読んで	1ヵ月	夜間尿、腰痛、ひざ痛	トイレの回数がへり腰痛・ひざ痛が改善	無			毎朝200mℓ
182 75歳男	無職	岩手	腰痛	平成2年6月	テレビを見て	3日間	腰痛	腰の痛みが全くなくなった	無			尿が出るたびに200mℓずつ
183 62歳男	無職	千葉	腰痛、火傷	平成2年5月	人に勧められ	8ヵ月	腰痛、火傷	腰の痛みが楽になり、火傷も軽快	有	下痢	3日	毎日180mℓを4回
184 71歳男	無職	鹿児島	糖尿病、心筋梗塞、胃潰瘍、腰痛	平成1年10月	医学と医療を読んで	2ヵ月	腰痛、低血圧、糖尿病	腰の痛みから解放された、低血圧が正常化、血糖値が安定	無			毎朝・毎夕200mℓずつ
185 61歳女	卸売り業	秋田	口臭	平成1年11月	無記入	2日	腰痛、口臭、イボ	腰が楽になった、姿勢がよくなった、口臭が消えた、イボが縮小	有	体がかゆくなった	無記入	毎朝200mℓ
186 49歳女	パート	大阪	腰痛、足の痛み、緑内障	平成3年4月	姉に聞いた	2週間	足腰の痛み	足腰の痛みが薄らぎ、立ち座りの動作が痛まなくなった	有	肺と腕が痛んだ	無記入	毎朝120mℓ、寝る前50mℓ
187 44歳女	飲食業	岡山	腰痛、冷え症、アレルギー性鼻炎、胃炎	平成2年5月	テレビ週刊誌を読んで	2ヵ月	更年期障害、アレルギー性鼻炎、腰痛、胃炎	更年期障害が軽快、アレルギー性鼻炎が改善、腰痛が少し軽快、胃炎が解消	有	下痢、口内炎	無記入	毎朝夕200mℓずつ
188 60歳女	無職	東京	胃潰瘍、卵巣のう腫	平成2年6月	無記入	2ヵ月	腰痛、肩こり、顔色	腰痛・肩こりが解消した、顔色がよくなりつやが出てきた	無			毎朝200mℓ

＊ひざ痛

年齢性別	職業	都道府県	病歴	開始時期	きっかけ	効果発生時期	治したかった症状	現れた効果	好転反応	好転反応の種類	好転反応の期間	一日の量
189 61歳女	無職	和歌山	五十肩、変形性膝関節炎	平成2年3月	主人の勧めで	2週間	五十肩、変形性膝関節炎	便秘が解消、肩、ひざの痛みがうすらいだ、視力もよくなった	無記入	無記入	無記入	毎朝コップ1杯
190 64歳女	主婦	兵庫	ひざ痛、肩こり	平成2年6月	壮快を読んで	1週間	ひざ痛、肩こり	体が軽くなった、ひざ痛、肩こりが消えた、疲れを感じなくなった	有	体がかゆくなった	無記入	朝コップ1杯
191 75歳男	無職	岩手	高血圧、変形性膝関節炎、不整脈	平成1年2月	壮快を読んで	5ヵ月	変形性膝関節炎、高血圧	ひざの痛みが軽くなった、血圧が下がった	有	カゼのような症状	無記入	朝昼晩150～200mℓずつ
192 67歳男	パート	静岡	高血圧、変形性膝関節炎、前立腺肥大、肩痛	平成2年5月	壮快を読んで	2ヵ月	高血圧、変形性膝関節炎、動悸、頻尿	血圧が下がった、ひざの痛みが軽くなった、頻尿が治った、肩痛が消えた	無			毎朝コップ1杯
193 70歳女	主婦	高知	高血圧、変形性膝関節炎、皮下出血	平成1年9月	壮快を読んで	3日	高血圧、変形性膝関節炎、皮下出血	血圧が正常値になって安定した、ひざの痛みが軽くなった、皮下出血が消えた	有	一時的に、皮下出血の部分が広くなった	無記入	毎朝180mℓ
194 58歳女	主婦	愛知	ひざ痛、蓄膿症	平成2年10月	壮快を読んで	蓄膿症は3ヵ月、ひざ痛は4ヵ月	ひざ痛、蓄膿症	階段の上り下りがらくになった、カゼをひかなくなった、肩こりが軽くなった	有	吐き気、下痢、腹痛	1日	毎朝180mℓ
195 56歳女	主婦	北海道	ひざ痛、リウマチ	平成2年5月	知人に聞いて	3ヵ月	リウマチ、ひざ痛	痛みが薄れ、正座ができるようになった	有	体がだるくなった	無記入	毎朝コップ1杯
196 57歳男	公務員	熊本	ひざ痛	平成1年11月	壮快を読んで	1ヵ月	ひざ痛	運動しても痛まなくなった	有	すねから足首までしっしんが出た、下痢	無記入	毎朝中間尿を水割りで1杯
197 64歳女	販売業	高知	腎臓病、高血圧、座骨神経痛	平成1年9月	壮快を読んで	3ヵ月	ひざ痛	ひざの痛みが消えた	無			毎朝200mℓ
198 73歳男	書家	滋賀	前立腺肥大、腰痛、ひざ痛	平成2年2月	壮快を読んで	1ヵ月	夜間尿、腰痛、ひざ痛	トイレの回数がへり腰痛・ひざ痛が改善	無			毎朝200mℓ
199 62歳女	自営業	北海道	ひざ痛	平成2年6月	テレビを見て	1週間	ひざ痛、疲れ目、カゼ、白髪、シミ	ひざが楽になり、疲れ目も治り、カゼもひかなくなった、白髪が黒くなりシミ消失	有	ひざと腕が痛んだ	4日	毎朝150mℓ
200 69歳女	主婦	愛知	クモ膜下出血	平成2年8月	人に勧められて	無記入	高血圧、ひざ痛	血圧が下がり、ひざに水がたまりにくくなり、歩けるようになった	有	全身がかゆくなる	4～5日	毎日180mℓを3回

・劇的効果と安全性が確認された

二〇〇人のデータを見てわかることは、尿療法は、自然治癒力（体に本来備わっている病気を自然に治そうとする力）を活性化することに重点を置いた治療法だということです。

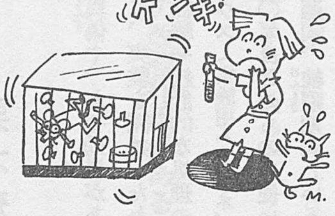
尿療法には、いわゆる西洋医学の化学的な治療法のような即効性は期待できません。しかし、原因不明の病気にたいしても、尿療法は確実に効果をあげていきます。尿療法は、体全体の血液の循環をよくする働きがあると考えられるのです。したがって、血行がよくなり、それによって体の細胞が活性化して、自然治癒力が増強されると推測されるのです。

二〇〇例のデータは、尿療法の実行者はもちろん、これから始めようという人にも、大変参考になったことと思います。

そして、尿療法にとって、最も重要なことは、「尿療法をやると病気が治る」という、ゆるぎのない事実です。この二〇〇例のデータはまさにそれを物語っているといえるでしょう。

◆第4章

尿療法の仕組みが科学的に解明されつつある



尿療法には確実で明白な効果があることが動物実験で明らかになってきた

林原生物化学研究所藤崎研究所所長
栗本雅司

＊一週間マウスの健康状態を調べた

私たちが尿療法の解明に乗り出した背景として、日本で何十万人もの人が尿療法で効果をあげているという事実がありました。アメリカでも、尿は「命の水」といわれ、多くの人が尿療法を実践しています。尿が体内に働きかけて病気を治すのは、紛れもない事実と思われます。ただし、その効果の証明や効果のメカニズムは、いままで明らかにされてはいませんでした。

そこで、その効果の真偽や、なぜ効果があるのかを科学的に解明するために、実験を開始したわけです。

まず初めに、過去の経験や統計的な処理の便利さから考えて、実験用のマウス（実験用ハツカネズミ）は、すべて生後七週間の二〇㌘ほどのものを使いました。

実験に入る前に、一週間、検疫期間というのを設けます。これは、マウスの健康状態を調べるもので、食欲などをチェックします。また、膀胱を圧迫して、尿

の出をよくするトレーニングも行います。

尿は、午前一〇時ごろから、一時間ほどかけて採って回ります。一匹ずつ、マッサージをして出た尿を、すぐにスポイトで吸い取り、口から与えるのです。

一匹につき、一日五〇～一〇〇マイクロリットル（一マイクロリットルは一㍑の百万分の一）を飲ませるので、尿が少量しか出ないマウスは、午後にもう一度行います。

講演会で動物実験について語る栗本氏

暖房や空調には、人間以上に気を配り、さらに専用の実験飼育室で飼育します。照明も、一日一二時間は明るく、一二時間は暗くするといったように、条件を整えておきます。

＊自己尿には貧血の改善作用がある

実験では、

①貧血改善効果
②老化抑制効果
③免疫疾患の改善
④抗ガン効果

の四部門に分け、その様子を観察しました。

①貧血改善効果

マウスは、ＩＣＲという種類のオスを用いました。そして、人工的に貧血状態にするために、フェニル

ヒドラジンという薬を、あらかじめ投与して貧血を起こさせておきます。

その後、自己尿（そのマウス自身の尿）、人間の尿、水を与えるの三つのグループに、マウスを各一〇匹ずつ配分し、一〇日間続けて投与しました。

すると、人間の尿を飲んでいたマウスと、水を飲んでいたマウスは、二日目で三五〜四〇％、六日目で六〇〜七〇％、九日目で七〇〜八〇％の貧血からの回復率を示しました。

ところが、自己尿を飲んでいたマウスは、二日目ですでに七〇％の回復率に達し、あとは七〇〜八〇％で推移しました。

自己尿を飲んでいたマウスに回復促進効果が現れるのがいかに早かったか、がうかがえる数字です。

一度きりの実験では不確かなので、実験をくり返し確認をとっているところです。

この実験によって、自己尿には、貧血を改善する作用があるらしいことはわかりました。しかし、そのメカニズムについてはまだ明らかではなく、現在、自己尿に造血促進作用があるのかどうかを調べているところです。

②老化抑制効果

C_3Hというマウスのオスを使い、今度は長期にわたって観察していきます。血液や組織学的なレベルでの生理機能の分析を必要とするので、予備的な検査だけでも三ヵ月以上はかけて行います。

この実験では、自己尿を飲むマウスを二六匹、水を飲むマウスを二四匹とし、一九九一年の五月から始めました。

一九九二年の一月現在では、水を飲むマウスの死亡率は二八％、自己尿を飲むマウスの死亡率は一二％です。自己尿を飲んでいるマウスの死亡率は、水を飲んでいるマウスの死亡率の半分以下と、大変低くなって

います。

ただし、両グループの生存率がどのくらい違ってくるのかは、かなり多くのマウスが死ぬまで実験を続け、どこかの時点で締め切ってみないと、最終結果は出ません。目下、実験を継続中といったところです。

③免疫疾患の改善

健康な人間ですと、外からウイルス（病原体の一つ。普通の顕微鏡では見えないほど小さな生物）のような微生物が入り込むと、体内のリンパ球（白血球の一種）が感知して、抗体（病原菌に抵抗する物質）を作って追い出します。このような体の防衛のしくみを、免疫といいます。

ところが、この免疫に異常がある自己免疫疾患の場合、微生物などが体内に入り込んだりしていないのに、体内に抗体ができてしまうというようなことが起こります。自己免疫疾患は難病で、一般的にこの病気があると寿命が短いことで知られています。

この実験では、免疫が異常になるMRLという種類のオスのマウスを使っています。

しかし、現在ではまだこのマウスの入手が難しく、私たちもこのマウスは初めて使用するということもあって、一九九一年の十月に予備的な検査を開始してまだ検査途中の段階です。

数ヵ月でこのマウスに免疫の異常が現れてくるはずなので、あと一〜二ヵ月のうちに、なにか変化が見られるかと思います。それから、尿療法の実験に入る予定です。

④抗ガン効果

マウスは、C57－BL／6という種類のメスを使い、ある種のガン細胞を移植します。一〇匹は自己尿を飲ませ、一〇匹は水を飲ませて、経過を見ていきました。

自己尿を飲ませたマウスは、尿の中の微量な成分が受容体（後述）に捕まって、免疫機構（病気を防ぐしくみ）に動きが生じていることが、まずわかりました。たぶん、血液の中に、なにか新しい生理活性物質（後述）が現れたのではないかと思われます。

生理活性物質とは、ホルモン、酵素（体内の化学変化を促進させる物質）、インターフェロン（ウイルス感染の阻止作用を持つ物質で、たんぱく質の一種）などのことで、体内にごくわずかに存在していて、健康を維持しているものです。

受容体というのは、微量な物質を捕えるための装置のようなもので、野球でいえば、キャッチャーに当たるものです。主に、のどや大腸に存在していて、受けた合図をさらに先に伝える役目をもっています。

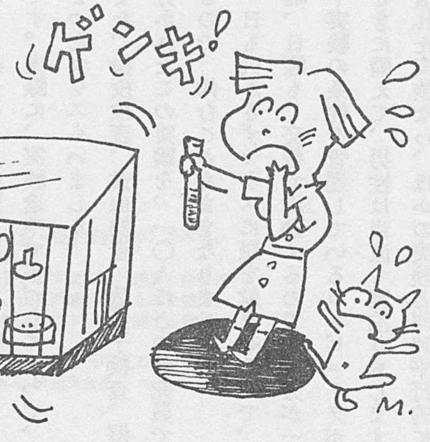
ところで、自己尿を飲ませたマウスの体内に現れる生理活性物質と思われるそれらの新しい物質は、あまりに微量すぎて調べるのが困難なため、遺伝子から解明していく方法を採りました。ＰＣＲ法という方法で、最近は犯罪捜査にもよく使われています。

その結果、自己尿を飲ませているグループでは、そうでないグループのマウスより生理活性物質に関係する遺伝子が五〜六種類活性化していることが判明しました。生理活性物質が刺激剤となって、免疫の活動が促され、ガン治療の足がかりになっているのではないかということです。

しかし、まだやっと糸口がつかめたといったところなので、今後もガン組織を調べ、自己尿を飲ませたグループと水を飲ませたグループの差を追究していかなければなりません。

*今後さらに実験を重ねていくつもり

私たちが行っている、以上の尿療法の動物実験は、まだまだ学問的には不確かな点や推論もありますが、尿という薬を加えることで、効果が得られることは間



悲鳴をあげる研究員も出て……

違いないと思います。

ただ、実験を行うにあたって、どのような実験を行ったらいいのか、なにを観察すればいいのか、初めは試行錯誤の連続でした。動物を管理して行う尿療法の実験というのは、例がないことだったのです。

いままでの経験や実験データをもとに、綿密に予想を立てて、そのときどきの感触などから、手探りで進んできたという感じです。

実験に使う動物にしても、ハムスターのほうが扱い慣れているので、初めはハムスターで行ってみました。

ところが、いざ実験に取りかかると、意外に尿が採れないのです。というのも、ハムスターの尿は、コンデンスミルクとまではいきませんが、かなり粘っこくて回収しにくいのです。

しかし、マウスに替えても、一匹一匹が手作業で、尿を採るのがこんなに大変なことだとは思いませんで

した。研究員の中には、「自分で尿を飲むから、私の体を調べてくれ」と、悲鳴を上げる人もいたほどです。

死亡率を比較する実験では、死んだマウスは、その死因も特別の原因でないかどうか確認します。動物ですから、針金のふたに引っかかって死ぬこともあるからです。実際に、実験途中で宙づりになって、のびてしまったマウスもいました。

また、検疫検査、貧血検査、遺伝子検査、解剖などに分かれたこの実験を、一〇人ほどの研究員で行っているので、休むこともままなりません。

一日も欠かさずマウスに尿を飲ませるので、正月や土曜、日曜も、交替で出勤するのです。万が一、飼育室や実験の条件を管理しているコンピュータが故障したときに備えて、男性は当直で寝泊りもします。

慣れた実験なら、ほかの実験と同時平行的に行えるのですが、この実験は、結果が出なければ動くことができません。動物実験は、いったん始めたら途中でやめられないというのが大変です。手がかりのないガラスのようなつるつるしたところを、這(は)っていっているようなものです。

半年から一年の長期の実験ですから、マウスの箱に入れるオガクズを、一週間に数回取り換えるのも、私たちの仕事の一つです。

しかし、こうして実験を行ってようやく結果が出たとしても、ネズミには効くけど人間には効かないということもあります。逆に、動物では反応はないけれど、人間には反応があることもあります。

医師の中には、尿療法に否定的な意見を持つ人も大勢います。ですから、世間一般が納得するような実験結果が出ることを、私たち研究員も切望していますし、必ずや実を結ぶことを信じています。

まだ、いまは予備実験の段階なので、今後、さらに改良した実験を積み重ねていくつもりです。

中尾良一（なかおりょういち）氏の略歴

1912年　奈良県に生まれる。
1933年　岩手医学専門学校（現・岩手医科大学）を卒業。
1946年　中尾内科医院を開業。
その後、山梨県医師会副会長、日本医師会代議員、医療協議会委員、甲府市議会議員、山梨県議会議員などを歴任。
発表論文は「イソニコチン酸ヒドラジッドに関する研究」（北里実験医学）など34編。
（社）日本医学協会理事、前日立製作所甲府工場診療所所長、中尾内科医院院長。MCL 研究所会長

■尿療法シリーズ
最新尿療法入門

平成４年４月11日／第１刷発行
定価1000円（本体971円）

著　者　中尾良一
発行者　森　孝喜
発行所　株式会社マイヘルス社
　　　　株式会社マキノ出版
〒113東京都文京区本郷2－22－2
☎03－3815－2981振替東京8－66439

印刷所
製本所　大日本印刷株式会社

©マキノ出版　1992年　　落丁本・乱丁本はお取りかえいたします。

お問い合わせは、編集関係は壮快編集部（電話03－3811－4071）、販売関係はマキノ出版へお願いいたします。

ISBN4－8376－1067－6 C0377 P1000E